

令和5年9月1日

【照会先】

保険局 調査課

課長 鈴木 健二 (内線3291)

医療費解析官 細川 聡一郎(内線3375)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2579

報道関係者 各位

「令和4年度 調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表します

～調剤医療費（電算処理分）の年度集計結果～

厚生労働省では、毎月、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に把握するため、電算処理分のレセプトを集計した「調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表しています。

このたび、令和4年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

本調査は調剤レセプトデータを集約することで、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に明らかにし、医療保険行政のための基礎資料を得ることを目的としたものです。

【調査結果のポイント】

- 令和4年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は7兆8,332億円（伸び率+1.7%）であり、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,392円（伸び率▲2.7%）であった。

その内訳は、技術料が2兆1,264億円（伸び率+5.8%）、薬剤料が5兆6,908億円（+0.2%）、特定保険医療材料料が161億円（伸び率+2.8%）であり、薬剤料のうち、後発医薬品が1兆1,256億円（伸び率▲1.2%）であった。【表1、表2】

- 処方箋1枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では10,922円と、0歳以上5歳未満の3,414円の約3.2倍であった。【表3】

- 後発医薬品割合は、令和4年度末の数量ベース（新指標）で83.7%（伸び幅+1.6%）、数量ベース（旧指標）で60.0%（伸び幅+0.8%）、薬剤料ベースで20.8%（伸び幅+0.6%）であり、後発医薬品調剤率が80.3%（伸び幅+1.6%）であった。【表4】

- 内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率は▲4.9%となっており、この伸び率を「処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「1種類当たり投薬日数の伸び率」、「1種類1日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々0.0%、▲0.4%、▲4.5%であった。【表5】

- 令和4年度の調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科では病院が3兆2,948億円(+0.3%)、診療所が4兆5,095億円(+2.6%)であり、令和4年度末の後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で、病院が83.9%(伸び幅+1.6%)、診療所が83.7%(伸び幅+1.7%)であった。また、制度別でみた場合、最も高かったのは公費の90.0%(伸び幅+1.0%)、最も低かったのが国保組合で82.0%(伸び幅+1.5%)であった。【表14、表15】
- 令和4年度末の後発医薬品割合を、数量ベース(新指標)の算出対象となる医薬品について、薬効大分類別にみると、薬効大分類別の構成割合が最も大きい循環器官用薬は87.3%、次いで大きい中枢神経系用薬は77.8%であった。【表16】

「令和4年度 調剤医療費(電算処理分)の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス (<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/database/>)

【調査概要】

- 調査方法 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく行政記録情報である「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から調剤報酬明細書情報の提供を受け、集計・分析を行う。
- 調査対象 「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から提供された令和4年度の調剤報酬明細書情報 合計約7.0億件分

調剤医療費(電算処理分)の動向の概要 ～令和4年度版～

1. 調剤医療費等の全数と電算処理分の比較

令和4年度の調剤医療費(電算処理分に限る。以下同様。)は7兆8,332億円(対前年度同期比(伸び率という。以下同じ)+1.7%)で、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,392円(▲2.7%)であった。

なお、電算処理割合は、平成21年度以降、医療費ベース、処方箋枚数ベースともに99%に達しており、処方箋1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1%程度となっている。

表1 調剤医療費総額、処方箋枚数及び処方箋1枚当たり調剤医療費

		実数					対前年度比(%)					
		平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
全数	調剤医療費(億円)	77,129	74,746	77,464	75,447	77,515	78,821	▲ 3.1	3.6	▲ 2.6	2.7	1.7
	処方箋枚数(万枚)	83,886	84,361	84,284	76,497	80,205	83,762	0.6	▲ 0.1	▲ 9.2	4.8	4.4
	1枚当たり調剤医療費(円)	9,195	8,860	9,191	9,863	9,665	9,410	▲ 3.6	3.7	7.3	▲ 2.0	▲ 2.6
電算 処理 分	調剤医療費(億円)	76,664	74,279	77,025	74,987	77,059	78,332	▲ 3.1	3.7	▲ 2.6	2.8	1.7
	電算化率(%)	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	—	—	—	—	—
	処方箋枚数(万枚)	83,445	83,930	83,869	76,135	79,870	83,401	0.6	▲ 0.1	▲ 9.2	4.9	4.4
	電算化率(%)	99.5	99.5	99.5	99.5	99.6	99.6	—	—	—	—	—
	1枚当たり調剤医療費(円)	9,187	8,850	9,184	9,849	9,648	9,392	▲ 3.7	3.8	7.2	▲ 2.0	▲ 2.7
	電算処理分/全数	0.999	0.999	0.999	0.999	0.998	0.998	—	—	—	—	—

注1) 「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

注2) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。

注3) 「全数」とは、医療保険及び公費負担医療で支給の対象となる医療費(患者負担分を含む。)のうち、審査支払機関による審査分(再審査分等調整前)を集計対象としたものである。

注4) 「電算処理分」とは、「全数」のうち、レセプト電算処理システムにより処理された明細書(いわゆる「電子レセプト」)を集計対象としたものである。次表以降、特に注意書きがない場合、「電算処理分」の集計値である。

2. 調剤医療費の内訳

調剤医療費の内訳は、技術料が2兆1,264億円(伸び率+5.8%)、薬剤料が5兆6,908億円(+0.2%)で、特定保険医療材料料が161億円(+2.8%)であった。

処方箋1枚当たり調剤医療費は9,392円(伸び率▲2.7%)で、その内訳は、技術料が2,550円(+1.3%)、薬剤料が6,823円(▲4.1%)で、特定保険医療材料料が19円(▲1.6%)であった。

構成割合は技術料が27.1%、薬剤料が72.6%、特定保険医療材料料が0.2%であった。

表2-1 調剤医療費の内訳(総額)

	実数(億円)						対前年度比(%)				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
調剤医療費	76,664	74,279	77,025	74,987	77,059	78,332	▲ 3.1	3.7	▲ 2.6	2.8	1.7
技術料	19,122	19,311	19,771	18,779	20,103	21,264	1.0	2.4	▲ 5.0	7.1	5.8
調剤技術料	15,423	15,294	15,773	15,046	16,136	10,772	▲ 0.8	3.1	▲ 4.6	7.2	-
調剤基本料	5,478	5,336	5,666	5,536	6,202	6,553	▲ 2.6	6.2	▲ 2.3	12.0	-
薬剤調製料	8,554	8,548	8,649	8,101	8,456	3,656	▲ 0.1	1.2	▲ 6.3	4.4	-
加算料	1,391	1,411	1,458	1,409	1,478	562	1.4	3.3	▲ 3.3	4.9	-
薬学管理料	3,699	4,016	3,998	3,733	3,967	10,492	8.6	▲ 0.5	▲ 6.6	6.3	-
薬剤料	57,413	54,834	57,114	56,058	56,800	56,908	▲ 4.5	4.2	▲ 1.8	1.3	0.2
内服薬	46,712	44,346	46,021	44,878	45,267	44,988	▲ 5.1	3.8	▲ 2.5	0.9	▲ 0.6
屯服薬他	381	344	344	326	327	330	▲ 9.9	0.2	▲ 5.4	0.4	1.0
注射薬	2,884	3,052	3,551	3,964	4,488	4,925	5.8	16.3	11.6	13.2	9.7
外用薬	7,436	7,092	7,198	6,891	6,717	6,665	▲ 4.6	1.5	▲ 4.3	▲ 2.5	▲ 0.8
(再掲)後発医薬品	10,092	10,245	10,959	11,337	11,391	11,256	1.5	7.0	3.4	0.5	▲ 1.2
特定保険医療材料料	130	134	140	150	156	161	3.8	4.4	7.2	3.9	2.8

注1) 「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、連携強化加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2) 令和3年度以前の「薬剤調製料」は「調剤料」を、「加算料」は「調剤料」の加算料をそれぞれ集計したものである。

注3) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記載された剤形が「内服」である薬剤をいう。

注4) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記載された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注5) 令和4年度診療報酬改定において調剤料が薬剤調製料と薬学管理料に分けられたことから、技術料内訳について令和3年度以前の値との単純な比較はできない。また、令和4年度の技術料内訳の伸び率は表示していない。

表2-2 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
調剤医療費	9,187	8,850	9,184	9,849	9,648	9,392	▲ 3.7	3.8	7.2	▲ 2.0	▲ 2.7
技術料	2,292	2,301	2,357	2,467	2,517	2,550	0.4	2.5	4.6	2.0	1.3
構成割合(%)	24.9	26.0	25.7	25.0	26.1	27.1	-	-	-	-	-
調剤技術料	1,848	1,822	1,881	1,976	2,020	1,292	▲ 1.4	3.2	5.1	2.2	-
調剤基本料	656	636	676	727	777	786	▲ 3.2	6.3	7.6	6.8	-
薬剤調製料	1,025	1,018	1,031	1,064	1,059	438	▲ 0.7	1.3	3.2	▲ 0.5	-
加算料	167	168	174	185	185	67	0.9	3.4	6.5	▲ 0.0	-
薬学管理料	443	479	477	490	497	1,258	8.0	▲ 0.4	2.8	1.3	-
薬剤料	6,880	6,533	6,810	7,363	7,112	6,823	▲ 5.0	4.2	8.1	▲ 3.4	▲ 4.1
構成割合(%)	74.9	73.8	74.1	74.8	73.7	72.6	-	-	-	-	-
内服薬	5,598	5,284	5,487	5,894	5,668	5,394	▲ 5.6	3.9	7.4	▲ 3.8	▲ 4.8
屯服薬他	46	41	41	43	41	40	▲ 10.4	0.3	4.2	▲ 4.3	▲ 3.3
注射薬	346	364	423	521	562	590	5.2	16.4	23.0	7.9	5.1
外用薬	891	845	858	905	841	799	▲ 5.2	1.6	5.5	▲ 7.1	▲ 5.0
(再掲)後発医薬品	1,209	1,221	1,307	1,489	1,426	1,350	0.9	7.0	14.0	▲ 4.2	▲ 5.4
特定保険医療材料料	16	16	17	20	20	19	3.2	4.4	18.1	▲ 1.0	▲ 1.6
構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	-	-	-	-	-

注1) 令和3年度以前の「薬剤調製料」は「調剤料」を、「加算料」は「調剤料」の加算料をそれぞれ集計したものである。

注2) 令和4年度診療報酬改定において調剤料が薬剤調製料と薬学管理料に分けられたことから、技術料内訳について令和3年度以前の値との単純な比較はできない。また、令和4年度の技術料内訳の伸び率は表示していない。

3. 年齢階級別の状況

処方箋1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では10,922円と、0歳以上5歳未満の3,414円の約3.2倍となっていた。

表3 年齢階級別処方箋1枚当たり調剤医療費

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
総数	9,187	8,850	9,184	9,849	9,648	9,392	▲ 3.7	3.8	7.2	▲ 2.0	▲ 2.7
0歳以上5歳未満	3,275	3,197	3,281	3,623	3,503	3,414	▲ 2.4	2.6	10.5	▲ 3.3	▲ 2.5
5歳以上10歳未満	4,725	4,571	4,752	5,547	5,400	5,135	▲ 3.3	4.0	16.7	▲ 2.7	▲ 4.9
10歳以上15歳未満	6,024	6,040	6,393	7,484	7,379	7,173	0.3	5.8	17.1	▲ 1.4	▲ 2.8
15歳以上20歳未満	6,261	6,326	6,665	7,505	7,585	7,413	1.0	5.4	12.6	1.1	▲ 2.3
20歳以上25歳未満	6,230	6,176	6,534	7,336	7,379	7,269	▲ 0.9	5.8	12.3	0.6	▲ 1.5
25歳以上30歳未満	6,544	6,435	6,710	7,496	7,489	7,335	▲ 1.7	4.3	11.7	▲ 0.1	▲ 2.1
30歳以上35歳未満	6,930	6,749	7,054	7,878	7,775	7,551	▲ 2.6	4.5	11.7	▲ 1.3	▲ 2.9
35歳以上40歳未満	7,585	7,360	7,681	8,535	8,456	8,214	▲ 3.0	4.4	11.1	▲ 0.9	▲ 2.9
40歳以上45歳未満	8,467	8,222	8,511	9,288	9,198	8,971	▲ 2.9	3.5	9.1	▲ 1.0	▲ 2.5
45歳以上50歳未満	9,185	8,881	9,211	9,888	9,798	9,636	▲ 3.3	3.7	7.3	▲ 0.9	▲ 1.6
50歳以上55歳未満	9,487	9,162	9,476	10,109	10,054	9,933	▲ 3.4	3.4	6.7	▲ 0.5	▲ 1.2
55歳以上60歳未満	9,860	9,479	9,763	10,308	10,193	10,064	▲ 3.9	3.0	5.6	▲ 1.1	▲ 1.3
60歳以上65歳未満	10,131	9,706	10,022	10,505	10,343	10,205	▲ 4.2	3.3	4.8	▲ 1.5	▲ 1.3
65歳以上70歳未満	10,446	9,988	10,311	10,733	10,565	10,420	▲ 4.4	3.2	4.1	▲ 1.6	▲ 1.4
70歳以上75歳未満	10,763	10,289	10,623	11,024	10,896	10,692	▲ 4.4	3.2	3.8	▲ 1.2	▲ 1.9
75歳以上80歳未満	11,126	10,638	10,955	11,312	11,163	10,854	▲ 4.4	3.0	3.3	▲ 1.3	▲ 2.8
80歳以上85歳未満	11,447	10,919	11,211	11,448	11,262	10,922	▲ 4.6	2.7	2.1	▲ 1.6	▲ 3.0
85歳以上90歳未満	11,409	10,890	11,179	11,262	11,048	10,771	▲ 4.6	2.7	0.7	▲ 1.9	▲ 2.5
90歳以上95歳未満	10,633	10,191	10,483	10,459	10,242	10,114	▲ 4.2	2.9	▲ 0.2	▲ 2.1	▲ 1.2
95歳以上100歳未満	9,071	8,738	9,060	9,051	8,988	9,022	▲ 3.7	3.7	▲ 0.1	▲ 0.7	0.4
100歳以上	7,225	7,014	7,295	7,332	7,386	7,566	▲ 2.9	4.0	0.5	0.7	2.4

4. 後発医薬品割合の推移及び後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

令和4年度末において、後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で83.7%(対前年同期差(伸び幅という。以下同じ)+1.6%)、数量ベース(旧指標)で60.0%(+0.8%)、薬剤料ベースで20.8%(+0.6%)であり、後発医薬品調剤率は80.3%(+1.6%)であった。

年度毎の平均でみると、令和4年度の後発医薬品割合は、数量ベースのうち新指標では83.2%(+1.2%)、旧指標では58.9%(▲0.2%)、薬剤料ベースでは19.8%(▲0.3%)であり、後発医薬品調剤率は79.5%(+1.3%)であった。

後発医薬品割合の階級別に保険薬局数の構成割合をみると、数量ベース(新指標)で後発医薬品割合が80%以上の薬局数は令和3年度3月で73.5%であったところ、令和4年度3月では78.4%(+4.9%)となっており、うち90%以上の薬局数は令和3年度3月で17.7%であったところ、令和4年度3月では26.6%(+9.0%)となっていた。

表4-1 令和4年度における後発医薬品割合

(単位:%)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度											
	3月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
数量ベース(新指標)	82.1	82.1	82.3	82.6	82.8	82.7	82.9	82.9	83.2	83.5	83.9	83.7	83.7	83.7
数量ベース(旧指標)	59.1	59.1	57.8	57.8	57.9	58.7	58.8	58.7	59.0	59.2	59.3	59.7	59.9	60.0
薬剤料ベース	21.4	20.2	19.5	19.2	19.2	19.6	19.5	19.5	19.9	19.7	19.7	19.9	20.7	20.8
後発医薬品調剤率	77.6	78.8	78.7	78.3	77.9	78.9	79.4	78.9	79.5	80.0	80.4	80.6	80.4	80.3

表4-2 年度毎にみた後発医薬品割合

(単位:%)

	実数							対前年度差						
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
数量ベース(新指標)	66.8	70.2	75.9	79.1	81.4	82.0	83.2	3.4	5.6	3.2	2.3	0.6	1.2	
数量ベース(旧指標)	44.5	47.7	52.6	55.0	57.6	59.1	58.9	3.2	4.8	2.4	2.6	1.5	▲0.2	
薬剤料ベース	15.5	17.6	18.7	19.2	20.2	20.1	19.8	2.1	1.1	0.5	1.0	▲0.2	▲0.3	
後発医薬品調剤率	67.0	69.4	73.0	75.2	76.7	78.2	79.5	2.4	3.6	2.2	1.5	1.5	1.3	

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 「新指標」は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。その際、新たに後発医薬品が販売される先発医薬品は、平成26年度より、薬価収載の翌月以降、医療課長通知*に基づき算出式の分母に算入することとしている。

そのため、算出式の分母となる医薬品数量が一時に増え、新指標による後発医薬品割合が低くなることもある。

*厚生労働省ホームページ「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報(について)」中の「5. その他(各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報)」を参照。

注3) 「後発医薬品調剤率」とは、全処方箋受付回数に対する後発医薬品を調剤した処方箋受付回数の割合をいう。

注4) 旧指標とは、平成24年度までの後発医薬品割合(数量ベース)の算出方法をいう。

注5) 旧指標による算出では、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤を除外している。

表4-3 後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

(単位:%)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度											
	3月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
割合	10%未満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	10%以上 20%未満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	20%以上 30%未満	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	30%以上 40%未満	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	40%以上 50%未満	1.7	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.0	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	0.9
	50%以上 60%未満	1.6	1.6	1.6	1.5	1.4	1.5	1.4	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.2
	55%以上 60%未満	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	2.0	2.0
	60%以上 65%未満	3.1	3.2	3.0	3.0	3.0	3.1	2.9	3.0	2.9	2.8	2.7	2.7	2.6
	65%以上 70%未満	3.9	3.9	3.9	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5
	70%以上 75%未満	4.6	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3
	75%以上 80%未満	8.7	8.8	8.2	7.8	7.4	7.4	7.2	7.3	6.8	6.4	5.9	6.3	6.3
	80%以上 85%未満	21.0	22.5	21.7	21.3	21.3	21.5	20.8	20.9	20.1	19.4	18.4	19.0	18.9
	85%以上 90%未満	33.0	33.3	33.2	33.3	33.2	33.0	33.1	33.0	33.1	33.1	33.1	33.1	32.9
	90%以上 95%未満	16.3	15.8	17.2	18.0	18.8	18.8	19.7	19.7	21.0	22.1	23.9	23.2	23.3
	95%以上	2.7	1.9	2.3	2.5	2.5	2.4	2.6	2.6	2.9	3.2	3.5	3.1	3.3
合	50%未満	2.8	2.3	2.2	2.1	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6	1.7	1.7
	80%以上	72.9	73.5	74.4	75.1	75.8	75.7	76.2	76.3	77.1	77.9	78.9	78.4	78.4
	80%以上 85%未満	21.0	22.5	21.7	21.3	21.3	21.5	20.8	20.9	20.1	19.4	18.4	19.0	18.9
	85%以上 90%未満	33.0	33.3	33.2	33.3	33.2	33.0	33.1	33.0	33.1	33.1	33.1	33.1	32.9
	90%以上	19.0	17.7	19.5	20.5	21.3	21.1	22.3	22.3	23.9	25.4	27.4	26.3	26.6

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

5. 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料5,389円を、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.76、27.9日、70円となっていた。

また、内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料の伸び率▲4.9%を、処方箋1枚当たり薬剤種類数の伸び率、1種類当たり投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々0.0%、▲0.4%、▲4.5%となっていた。

表5 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数						対前年度比(%)				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料(円)	5,590	5,273	5,478	5,886	5,666	5,389	▲ 5.7	3.9	7.4	▲ 3.7	▲ 4.9
処方箋1枚当たり薬剤種類数	2.81	2.80	2.79	2.76	2.76	2.76	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.1	0.0
1種類当たり投薬日数(日)	23.6	24.1	25.0	28.2	28.1	27.9	2.3	3.6	12.7	▲ 0.5	▲ 0.4
1種類1日当たり薬剤料(円)	84	78	79	76	73	70	▲ 7.4	0.5	▲ 3.7	▲ 3.2	▲ 4.5

注1) 「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記載された用量、「調剤数量」欄に記載された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

注2) 「処方箋1枚当たり薬剤種類数」については、調剤報酬明細書の「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごとに、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤を同一種類として数えた延種類数(薬剤延種類数)の合計値(内服薬のみ)を、処方箋受付回数の合計値(内服薬が含まれない処方箋受付回も含む。)で除して算出している。

注3) 「1種類当たり投薬日数」については、調剤報酬明細書の「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごと、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤ごとの調剤数量の合計値(内服薬のみ)を、薬剤延種類数の合計値(内服薬のみ)で除して算出している。

注4) 「1種類1日当たり薬剤料」については、調剤報酬明細書の「処方」欄に記載された用量、「調剤数量」欄に記載された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料の合計値(内服薬のみ)を、「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごと、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤ごとの調剤数量の合計値(内服薬のみ)で除して算出している。

6-1. 薬効分類別の状況(1)(内服薬薬剤料総額)

内服薬の薬剤料(総額)を薬効大分類別にみると、その他の代謝性医薬品が8,237億円と最も高く、次いで循環器官用薬が7,166億円となっている。伸び率は、化学療法剤が+24.4%と最も高く、ビタミン剤が▲16.4%と最も低い。

後発医薬品については、循環器官用薬が2,843億円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が1,723億円となっている。伸び率は、呼吸器官用薬が+13.8%と最も高く、消化器官用薬が▲14.7%と最も低い。

表6-1 内服薬 薬効分類別 薬剤料

	総額(億円)						対前年度比(%)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	後発医薬品(億円)(再掲)			令和3年度	令和4年度	後発医薬品(再掲)	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
内服薬 総数	44,811	45,251	44,947	9,804	9,726	9,547	1.0	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 1.8
11 中枢神経系用薬	7,501	6,978	6,511	1,478	1,701	1,723	▲ 7.0	▲ 6.7	15.1	1.3
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	460	407	352	158	174	176	▲ 11.6	▲ 13.5	10.3	1.3
114 解熱鎮痛消炎剤	723	633	592	275	293	291	▲ 12.5	▲ 6.4	6.7	▲ 0.8
116 抗パーキンソン剤	673	679	672	68	63	58	0.9	▲ 1.0	▲ 6.4	▲ 7.9
117 精神神経用剤	2,480	2,396	2,207	427	462	503	▲ 3.4	▲ 7.9	8.0	8.9
119 その他中枢神経系用薬	2,261	1,943	1,937	452	605	528	▲ 14.1	▲ 0.3	33.9	▲ 12.8
21 循環器官用薬	7,787	7,574	7,166	2,971	2,871	2,843	▲ 2.7	▲ 5.4	▲ 3.4	▲ 1.0
212 不整脈用剤	290	280	261	151	149	152	▲ 3.5	▲ 6.9	▲ 1.3	2.0
214 血圧降下剤	2,866	2,707	2,411	1,112	1,096	1,002	▲ 5.6	▲ 10.9	▲ 1.4	▲ 8.6
217 血管拡張剤	786	715	633	563	523	489	▲ 9.0	▲ 11.5	▲ 7.1	▲ 6.5
218 高脂血症用剤	2,050	1,904	1,650	881	842	869	▲ 7.1	▲ 13.3	▲ 4.4	3.2
22 呼吸器官用薬	270	280	319	162	172	195	3.8	13.9	5.9	13.8
23 消化器官用薬	4,237	4,344	4,144	1,259	1,198	1,023	2.5	▲ 4.6	▲ 4.8	▲ 14.7
232 消化性潰瘍用剤	2,604	2,603	2,364	749	690	511	▲ 0.1	▲ 9.2	▲ 7.8	▲ 25.9
239 その他の消化器官用薬	635	660	650	142	130	127	3.8	▲ 1.4	▲ 8.7	▲ 1.7
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	804	872	1,036	203	218	241	8.5	18.8	7.4	10.6
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	1,190	1,101	1,040	236	254	243	▲ 7.4	▲ 5.6	7.8	▲ 4.7
31 ビタミン剤	849	701	586	339	352	359	▲ 17.5	▲ 16.4	3.9	2.0
32 滋養強壮薬	552	580	598	43	43	42	5.1	3.0	▲ 0.5	▲ 1.3
325 蛋白アミノ酸製剤	463	485	501	17	13	13	4.8	3.4	▲ 24.0	▲ 1.7
33 血液・体液用薬	3,353	3,436	3,459	691	653	607	2.5	0.7	▲ 5.6	▲ 7.0
39 その他の代謝性医薬品	7,711	8,130	8,237	834	817	872	5.4	1.3	▲ 2.0	6.8
396 糖尿病用剤	3,886	4,073	4,262	247	243	234	4.8	4.6	▲ 1.5	▲ 3.9
399 他に分類されない代謝性医薬品	3,073	3,276	3,395	496	483	478	6.6	3.6	▲ 2.6	▲ 1.1
42 腫瘍用薬	4,677	5,222	5,775	363	316	290	11.6	10.6	▲ 12.9	▲ 8.3
422 代謝拮抗剤	201	177	152	99	90	80	▲ 11.9	▲ 14.4	▲ 8.5	▲ 11.0
429 その他の腫瘍用薬	4,444	5,009	5,597	246	215	195	12.7	11.7	▲ 12.4	▲ 9.3
44 アレルギー用薬	1,962	1,863	1,859	863	795	788	▲ 5.0	▲ 0.2	▲ 7.8	▲ 0.9
52 漢方製剤	1,286	1,393	1,462	-	-	-	8.3	4.9	-	-
61 抗生物質製剤	404	397	399	121	112	105	▲ 1.7	0.5	▲ 8.0	▲ 6.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	171	171	177	35	34	34	▲ 0.3	3.7	▲ 0.5	▲ 0.1
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	103	92	82	58	52	50	▲ 11.3	▲ 10.9	▲ 11.3	▲ 4.0
62 化学療法剤	1,580	1,528	1,901	164	145	138	▲ 3.3	24.4	▲ 11.5	▲ 5.1
624 合成抗菌剤	122	117	116	41	38	37	▲ 3.6	▲ 1.6	▲ 8.1	▲ 3.1
625 抗ウイルス剤	1,222	1,158	1,525	72	62	60	▲ 5.3	31.7	▲ 14.9	▲ 2.1

注1) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

注2) 「-」は0を意味する。

6-2. 薬効分類別の状況(2)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、その他の代謝性医薬品が988円と最も高く、次いで循環器官用薬が859円となっている。伸び率は、化学療法剤が+19.1%と最も高く、ビタミン剤が▲20.0%と最も低い。

表6-2 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
内服薬 総数	5,590	5,273	5,478	5,886	5,666	5,389	▲ 5.7	3.9	7.4	▲ 3.7	▲ 4.9
11 中枢神経系用薬	976	941	954	985	874	781	▲ 3.7	1.4	3.3	▲ 11.3	▲ 10.6
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	65	58	56	60	51	42	▲ 11.0	▲ 2.8	7.1	▲ 15.7	▲ 17.2
114 解熱鎮痛消炎剤	124	121	113	95	79	71	▲ 2.4	▲ 6.6	▲ 15.7	▲ 16.6	▲ 10.4
116 抗パーキンソン剤	85	77	80	88	85	81	▲ 9.4	4.5	9.9	▲ 3.8	▲ 5.2
117 精神神経用剤	321	300	298	326	300	265	▲ 6.6	▲ 0.6	9.3	▲ 7.9	▲ 11.8
119 その他中枢神経系用薬	293	291	303	297	243	232	▲ 0.6	4.1	▲ 2.1	▲ 18.1	▲ 4.5
21 循環器官用薬	1,169	982	986	1,023	948	859	▲ 16.1	0.4	3.8	▲ 7.3	▲ 9.4
212 不整脈用剤	52	39	38	38	35	31	▲ 25.0	▲ 2.9	1.5	▲ 8.0	▲ 10.8
214 血圧降下剤	484	375	360	377	339	289	▲ 22.4	▲ 4.0	4.6	▲ 10.0	▲ 14.7
217 血管拡張剤	128	107	103	103	90	76	▲ 17.0	▲ 3.7	0.6	▲ 13.3	▲ 15.2
218 高脂血症用剤	317	264	270	269	238	198	▲ 16.8	2.3	▲ 0.2	▲ 11.5	▲ 17.0
22 呼吸器官用薬	52	48	47	35	35	38	▲ 7.4	▲ 2.2	▲ 24.9	▲ 1.1	9.1
23 消化器官用薬	495	460	491	557	544	497	▲ 7.0	6.6	13.4	▲ 2.3	▲ 8.7
232 消化性潰瘍用剤	333	298	309	342	326	283	▲ 10.7	3.8	10.7	▲ 4.7	▲ 13.0
239 その他の消化器官用薬	69	70	74	83	83	78	0.6	6.6	12.2	▲ 1.0	▲ 5.6
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	80	82	98	106	109	124	3.3	19.0	7.7	3.4	13.8
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	164	156	150	156	138	125	▲ 5.0	▲ 3.7	4.3	▲ 11.8	▲ 9.6
31 ビタミン剤	116	115	121	112	88	70	▲ 1.2	5.2	▲ 7.9	▲ 21.3	▲ 20.0
32 滋養強壮薬	62	60	63	73	73	72	▲ 2.8	4.7	15.7	0.2	▲ 1.4
325 蛋白アミノ酸製剤	52	50	52	61	61	60	▲ 3.7	4.5	16.0	▲ 0.1	▲ 1.0
33 血液・体液用薬	414	399	421	440	430	415	▲ 3.7	5.6	4.5	▲ 2.3	▲ 3.6
39 その他の代謝性医薬品	816	818	887	1,013	1,018	988	0.3	8.3	14.2	0.5	▲ 3.0
396 糖尿病用剤	409	409	442	510	510	511	0.0	8.1	15.4	▲ 0.1	0.2
399 他に分類されない代謝性医薬品	328	326	352	404	410	407	▲ 0.5	7.9	14.8	1.6	▲ 0.8
42 腫瘍用薬	386	425	508	614	654	692	10.1	19.5	20.9	6.4	5.9
422 代謝拮抗剤	42	34	29	26	22	18	▲ 17.8	▲ 15.2	▲ 9.6	▲ 16.0	▲ 18.0
429 その他の腫瘍用薬	337	386	475	584	627	671	14.6	23.0	23.0	7.5	7.0
44 アレルギー用薬	298	260	257	258	233	223	▲ 12.8	▲ 1.0	0.1	▲ 9.5	▲ 4.5
52 漢方製剤	140	141	149	169	174	175	0.5	5.5	13.6	3.2	0.5
61 抗生物質製剤	85	71	66	53	50	48	▲ 16.6	▲ 6.4	▲ 20.2	▲ 6.3	▲ 3.7
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	39	32	30	23	21	21	▲ 16.4	▲ 8.1	▲ 24.0	▲ 5.0	▲ 0.7
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	30	24	21	14	11	10	▲ 21.5	▲ 10.6	▲ 35.5	▲ 15.5	▲ 14.7
62 化学療法剤	295	275	226	208	191	228	▲ 6.7	▲ 18.0	▲ 8.1	▲ 7.8	19.1
624 合成抗菌剤	36	28	26	16	15	14	▲ 21.6	▲ 8.6	▲ 38.4	▲ 8.1	▲ 5.8
625 抗ウイルス剤	236	224	171	161	145	183	▲ 5.3	▲ 23.5	▲ 6.2	▲ 9.7	26.2

(注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足上げても総数と一致しない。

7. 薬効分類別の状況(3)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.65と最も多く、次いで中枢神経系用薬が0.46となっている。伸び率は、呼吸器官用薬が+21.7%で最も高く、消化器官用薬が▲3.1%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤種類数

	実数						対前年度比(%)				
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
内服薬 総数	2.81	2.80	2.79	2.76	2.76	2.76	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.1	0.0
11 中枢神経系用薬	0.45	0.45	0.45	0.47	0.47	0.46	▲ 0.8	0.1	4.9	▲ 1.1	▲ 2.0
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	0.12	0.12	0.11	0.12	0.11	0.11	▲ 3.7	▲ 3.0	7.6	▲ 5.7	▲ 6.9
114 解熱鎮痛消炎剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 3.8	2.2	1.3
116 抗パーキンソン剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	▲ 2.0	▲ 1.1	6.8	▲ 4.0	▲ 5.8
117 精神神経用剤	0.12	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13	▲ 0.3	0.9	10.1	▲ 1.5	▲ 3.1
119 その他中枢神経系用薬	0.05	0.06	0.06	0.07	0.07	0.07	7.8	7.5	14.3	5.5	3.5
21 循環器官用薬	0.60	0.60	0.61	0.67	0.67	0.65	0.4	1.6	9.8	▲ 0.5	▲ 2.6
212 不整脈用剤	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	3.4	4.4	12.6	1.4	▲ 0.4
214 血圧降下剤	0.20	0.20	0.20	0.22	0.21	0.20	▲ 0.8	0.4	8.3	▲ 1.9	▲ 4.7
217 血管拡張剤	0.14	0.14	0.14	0.16	0.15	0.15	0.0	1.2	9.2	▲ 1.4	▲ 3.3
218 高脂血症用剤	0.14	0.15	0.15	0.17	0.17	0.17	2.8	4.1	11.9	1.7	▲ 0.9
22 呼吸器官用薬	0.25	0.25	0.24	0.13	0.15	0.18	▲ 1.2	▲ 5.0	▲ 44.5	13.8	21.7
23 消化器官用薬	0.45	0.44	0.44	0.45	0.44	0.43	▲ 1.4	▲ 0.9	2.5	▲ 1.2	▲ 3.1
232 消化性潰瘍用剤	0.23	0.22	0.22	0.23	0.22	0.22	▲ 1.9	▲ 1.0	4.5	▲ 2.6	▲ 3.6
239 その他の消化器官用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	▲ 0.3	▲ 1.4	1.8	0.2	▲ 3.6
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	1.7	2.9	5.5	1.7	2.8
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.9	4.7	9.9	0.3	▲ 1.0
31 ビタミン剤	0.10	0.10	0.10	0.11	0.10	0.10	0.6	1.2	7.9	▲ 5.2	▲ 3.0
32 滋養強壯薬	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	2.4	2.3	11.1	1.9	▲ 0.6
325 蛋白アミノ酸製剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	2.5	4.9	16.5	2.0	▲ 0.3
33 血液・体液用薬	0.14	0.14	0.14	0.14	0.13	0.14	▲ 0.4	0.2	▲ 4.5	▲ 1.9	1.0
39 その他の代謝性医薬品	0.22	0.22	0.23	0.25	0.25	0.24	1.0	1.9	9.6	0.3	▲ 1.8
396 糖尿病用剤	0.12	0.12	0.12	0.13	0.14	0.13	0.9	2.1	10.6	0.5	▲ 1.4
399 他に分類されない代謝性医薬品	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	▲ 0.5	0.1	6.3	0.4	▲ 2.1
42 腫瘍用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	2.8	5.2	12.5	0.5	1.6
422 代謝拮抗剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	▲ 3.8	1.3	8.0	▲ 2.1	▲ 4.4
429 その他の腫瘍用薬	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	5.4	6.6	13.9	1.5	3.4
44 アレルギー用薬	0.20	0.21	0.20	0.19	0.19	0.20	1.7	▲ 2.3	▲ 8.3	0.4	6.5
52 漢方製剤	0.08	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09	1.7	2.2	1.3	2.0	2.5
61 抗生物質製剤	0.10	0.09	0.09	0.06	0.06	0.06	▲ 7.7	▲ 4.6	▲ 29.4	▲ 3.2	▲ 2.2
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	▲ 7.5	▲ 4.2	▲ 27.6	▲ 2.3	▲ 2.5
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.04	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	▲ 9.4	▲ 6.8	▲ 39.8	▲ 5.4	▲ 0.8
62 化学療法剤	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	0.03	2.6	▲ 10.5	▲ 25.8	▲ 1.8	9.7
624 合成抗がん剤	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	▲ 7.0	▲ 5.2	▲ 33.8	▲ 3.4	0.7
625 抗ウイルス剤	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01	25.5	▲ 29.9	▲ 36.6	▲ 2.5	48.8

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

8. 薬効分類別の状況(4)(内服薬1種類当たり投薬日数)

内服薬の1種類当たり投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の42.5日であり、最も短いのは抗生物質製剤の8.6日である。伸び率は、ビタミン剤が+2.1%で最も高く、呼吸器官用薬が▲8.5%で最も低い。

表8 内服薬薬効分類別1種類当たり投薬日数

	実数(日)						対前年度比(%)				
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
内服薬 総数	23.6	24.1	25.0	28.2	28.1	27.9	2.3	3.6	12.7	▲ 0.5	▲ 0.4
11 中枢神経系用薬	22.1	22.6	23.1	24.6	24.7	24.9	2.0	2.2	6.6	0.4	0.7
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	23.9	24.1	24.5	24.9	25.1	25.3	1.1	1.3	2.0	0.6	1.0
114 解熱鎮痛消炎剤	16.2	16.7	17.2	19.7	19.7	19.6	2.9	3.4	14.2	▲ 0.0	▲ 0.3
116 抗パーキンソン剤	27.8	28.3	29.0	29.9	29.9	30.4	1.6	2.4	3.4	▲ 0.1	1.5
117 精神神経用剤	23.9	24.2	24.6	25.3	25.4	25.8	1.2	1.9	2.7	0.5	1.4
119 その他中枢神経系用薬	25.3	25.6	25.9	26.6	26.8	27.2	1.3	1.1	3.0	0.4	1.5
21 循環器官用薬	32.3	32.9	33.7	35.1	35.2	35.7	1.7	2.4	4.2	0.3	1.4
212 不整脈用剤	33.0	33.5	34.2	35.5	35.4	35.9	1.5	2.1	3.9	▲ 0.2	1.2
214 血圧降下剤	33.4	34.0	34.7	36.3	36.4	36.9	1.8	2.3	4.3	0.3	1.4
217 血管拡張剤	32.4	32.9	33.7	35.1	35.3	35.7	1.7	2.3	4.3	0.4	1.4
218 高脂血症用剤	34.3	34.9	35.8	37.4	37.5	38.1	1.7	2.4	4.5	0.4	1.5
22 呼吸器官用薬	8.5	8.7	9.1	12.7	11.6	10.7	2.5	4.5	39.6	▲ 8.1	▲ 8.5
23 消化器官用薬	23.7	24.1	24.9	27.2	27.1	27.2	1.8	3.2	9.1	▲ 0.4	0.7
232 消化性潰瘍用剤	25.4	25.9	26.7	28.4	28.5	28.7	2.0	2.8	6.6	0.2	0.8
239 その他の消化器官用薬	22.2	22.6	23.6	26.1	25.9	26.1	2.1	4.2	10.7	▲ 0.7	0.8
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	27.3	28.0	29.2	32.1	32.3	32.8	2.4	4.1	10.2	0.5	1.5
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	33.4	33.8	34.1	35.8	36.0	36.5	1.2	1.0	4.9	0.5	1.6
31 ビタミン剤	27.9	28.5	29.3	30.6	30.8	31.4	2.1	2.7	4.5	0.6	2.1
32 滋養強壯薬	26.4	26.7	27.0	27.6	27.7	27.9	1.1	1.4	2.2	0.1	0.7
325 蛋白アミノ酸製剤	20.3	20.4	20.5	20.7	20.4	20.4	0.2	0.6	0.9	▲ 1.3	▲ 0.2
33 血液・体液用薬	26.9	27.3	27.7	31.5	30.9	29.7	1.2	1.5	13.6	▲ 1.6	▲ 4.0
39 その他の代謝性医薬品	29.4	30.0	30.8	32.3	32.4	33.0	2.1	2.9	4.7	0.4	1.8
396 糖尿病用剤	33.7	34.3	35.1	36.6	36.6	37.1	1.7	2.4	4.2	0.0	1.3
399 他に分類されない代謝性医薬品	15.8	16.3	17.0	18.0	18.3	19.1	2.9	4.2	5.8	2.0	4.3
42 腫瘍用薬	41.3	41.4	42.0	43.4	43.0	42.5	0.3	1.2	3.4	▲ 0.9	▲ 1.1
422 代謝拮抗剤	20.3	20.4	20.4	21.0	20.9	21.1	0.6	0.2	2.8	▲ 0.7	0.9
429 その他の腫瘍用薬	49.1	48.5	48.8	50.1	49.4	48.2	▲ 1.2	0.6	2.7	▲ 1.5	▲ 2.4
44 アレルギー用薬	17.7	18.5	19.7	24.0	23.7	23.8	4.5	6.4	22.0	▲ 1.1	0.2
52 漢方製剤	21.0	21.4	22.0	24.9	25.2	25.0	1.6	3.2	13.2	1.2	▲ 1.1
61 抗生物質製剤	6.7	6.9	7.2	8.6	8.6	8.6	3.9	3.7	19.1	0.1	0.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.8	4.9	5.0	5.1	5.1	5.2	1.6	1.6	1.5	0.3	1.7
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	8.5	8.9	9.4	12.9	13.0	12.8	5.1	5.1	37.6	0.6	▲ 1.1
62 化学療法剤	10.6	10.3	11.7	15.4	15.6	14.6	▲ 2.9	13.6	32.2	0.9	▲ 6.4
624 合成抗菌剤	5.4	5.5	5.6	6.0	6.0	6.1	1.3	1.5	6.6	0.5	1.5
625 抗ウイルス剤	11.3	8.8	12.3	19.3	19.6	14.4	▲ 21.6	39.8	56.2	1.5	▲ 26.2

注)表示していない項目(薬効)がある。

9. 薬効分類別の状況(5)(内服薬1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の2,223円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の20円であった。

伸び率は、化学療法剤が+16.0%で最も高く、ビタミン剤が▲19.2%で最も低い。

表9 内服薬薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
内服薬 総数	84	78	79	76	73	70	▲ 7.4	0.5	▲ 3.7	▲ 3.2	▲ 4.5
11 中枢神経系用薬	97	93	92	85	76	69	▲ 4.7	▲ 0.9	▲ 7.7	▲ 10.6	▲ 9.5
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	23	21	21	20	18	16	▲ 8.7	▲ 1.2	▲ 2.5	▲ 11.1	▲ 12.0
114 解熱鎮痛消炎剤	73	70	64	49	40	36	▲ 4.2	▲ 9.0	▲ 23.2	▲ 18.4	▲ 11.3
116 抗パーキンソン剤	194	177	183	182	182	181	▲ 9.0	3.3	▲ 0.4	0.2	▲ 0.8
117 精神神経用剤	113	105	101	98	91	82	▲ 7.5	▲ 3.3	▲ 3.4	▲ 7.0	▲ 10.2
119 その他中枢神経系用薬	226	205	197	164	127	115	▲ 9.0	▲ 4.2	▲ 16.9	▲ 22.7	▲ 9.1
21 循環器官用薬	60	49	48	43	40	37	▲ 17.8	▲ 3.5	▲ 9.3	▲ 7.1	▲ 8.3
212 不整脈用剤	49	35	32	28	25	22	▲ 28.6	▲ 8.9	▲ 13.3	▲ 9.2	▲ 11.5
214 血圧降下剤	72	55	51	48	44	38	▲ 23.2	▲ 6.6	▲ 7.5	▲ 8.5	▲ 11.7
217 血管拡張剤	28	23	21	19	16	14	▲ 18.4	▲ 7.0	▲ 11.7	▲ 12.5	▲ 13.5
218 高脂血症用剤	65	52	50	42	37	30	▲ 20.4	▲ 4.0	▲ 14.7	▲ 13.3	▲ 17.4
22 呼吸器官用薬	24	22	22	21	20	20	▲ 8.6	▲ 1.5	▲ 3.1	▲ 5.3	▲ 2.0
23 消化器官用薬	47	43	45	46	45	42	▲ 7.3	4.2	1.4	▲ 0.7	▲ 6.4
232 消化性潰瘍用剤	58	51	52	52	51	46	▲ 10.7	2.0	▲ 0.7	▲ 2.4	▲ 10.5
239 その他の消化器官用薬	86	85	88	87	87	84	▲ 1.2	3.8	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 2.8
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	59	58	65	60	61	66	▲ 0.8	11.1	▲ 7.4	1.2	9.1
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	125	116	105	95	84	75	▲ 7.0	▲ 9.0	▲ 9.5	▲ 12.4	▲ 10.1
31 ビタミン剤	43	41	42	34	28	23	▲ 3.9	1.3	▲ 18.3	▲ 17.5	▲ 19.2
32 滋養強壮薬	89	84	84	86	84	83	▲ 6.2	0.9	1.8	▲ 1.7	▲ 1.5
325 蛋白アミノ酸製剤	445	417	413	408	404	402	▲ 6.3	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 0.8	▲ 0.5
33 血液・体液用薬	107	102	106	102	104	103	▲ 4.5	3.8	▲ 3.7	1.2	▲ 0.7
39 その他の代謝性医薬品	126	123	127	126	126	122	▲ 2.7	3.4	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 2.9
396 糖尿病用剤	103	100	103	104	103	103	▲ 2.6	3.3	0.1	▲ 0.6	0.3
399 他に分類されない代謝性医薬品	391	380	393	401	398	387	▲ 2.8	3.5	2.0	▲ 0.8	▲ 2.8
42 腫瘍用薬	1,582	1,689	1,897	1,973	2,109	2,223	6.8	12.3	4.0	6.9	5.4
422 代謝拮抗剤	1,433	1,215	1,015	827	714	607	▲ 15.2	▲ 16.5	▲ 18.5	▲ 13.7	▲ 15.0
429 その他の腫瘍用薬	1,586	1,745	2,001	2,103	2,262	2,396	10.0	14.7	5.1	7.5	6.0
44 アレルギー用薬	82	68	64	58	53	47	▲ 18.0	▲ 4.8	▲ 10.5	▲ 8.8	▲ 10.5
52 漢方製剤	81	79	79	78	78	77	▲ 2.7	0.0	▲ 0.9	▲ 0.1	▲ 0.8
61 抗生物質製剤	130	113	107	102	98	96	▲ 13.1	▲ 5.3	▲ 5.0	▲ 3.2	▲ 1.9
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	138	123	116	120	117	117	▲ 11.0	▲ 5.6	3.4	▲ 3.0	0.2
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	99	81	74	58	51	45	▲ 17.6	▲ 8.8	▲ 22.1	▲ 11.2	▲ 13.0
62 化学療法剤	752	705	569	532	496	575	▲ 6.3	▲ 19.3	▲ 6.4	▲ 6.9	16.0
624 合成抗菌剤	306	254	242	211	200	184	▲ 16.9	▲ 4.9	▲ 12.7	▲ 5.3	▲ 7.8
625 抗ウイルス剤	2,388	2,299	1,794	1,701	1,552	1,784	▲ 3.8	▲ 22.0	▲ 5.2	▲ 8.7	14.9

注)表示していない項目(薬効)がある。

10-1. 薬効分類別の状況(6)(内服薬 後発医薬品処方箋1枚当たり薬剤料)

後発医薬品の内服薬について、処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が341円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が207円となっている。伸び率は、呼吸器官用薬が+9.0%で最も高く、消化器官用薬が▲18.3%で最も低い。

表10-1 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり後発医薬品薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
内服薬 総数	1,076	1,079	1,142	1,288	1,218	1,145	0.3	5.9	12.7	▲ 5.4	▲ 6.0
11 中枢神経系用薬	120	121	145	194	213	207	0.7	20.1	33.7	9.7	▲ 3.0
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	19	18	19	21	22	21	▲ 1.2	2.5	9.7	5.2	▲ 3.0
114 解熱鎮痛消炎剤	16	18	24	36	37	35	13.3	38.8	48.1	1.7	▲ 5.0
116 抗パーキンソン剤	5	7	8	9	8	7	25.7	14.3	14.0	▲ 10.8	▲ 11.8
117 精神神経用剤	39	37	51	56	58	60	▲ 5.0	35.4	10.6	2.9	4.3
119 その他中枢神経系用薬	35	31	32	59	76	63	▲ 10.5	2.1	85.4	27.7	▲ 16.5
21 循環器官用薬	327	343	353	390	359	341	4.9	3.0	10.4	▲ 7.9	▲ 5.2
212 不整脈用剤	15	16	17	20	19	18	5.1	9.0	13.9	▲ 5.9	▲ 2.3
214 血圧降下剤	125	137	141	146	137	120	10.3	2.3	3.9	▲ 6.0	▲ 12.5
217 血管拡張剤	77	69	70	74	66	59	▲ 9.8	1.4	5.1	▲ 11.5	▲ 10.4
218 高脂血症用剤	87	96	97	116	105	104	9.9	1.4	18.7	▲ 8.9	▲ 1.2
22 呼吸器官用薬	23	24	26	21	21	23	7.6	5.6	▲ 17.1	0.9	9.0
23 消化器官用薬	160	152	153	165	150	123	▲ 4.9	1.0	7.9	▲ 9.3	▲ 18.3
232 消化性潰瘍用剤	106	97	95	98	86	61	▲ 8.8	▲ 1.3	3.3	▲ 12.1	▲ 29.1
239 その他の消化器官用薬	14	15	16	19	16	15	3.0	6.3	18.6	▲ 12.9	▲ 5.8
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	10	13	17	27	27	29	28.2	26.9	59.7	2.4	5.9
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	16	15	24	31	32	29	▲ 10.7	64.8	28.9	2.8	▲ 8.7
31 ビタミン剤	33	30	29	45	44	43	▲ 8.3	▲ 1.4	51.3	▲ 1.0	▲ 2.3
32 滋養強壮薬	5	5	5	6	5	5	6.8	6.0	7.6	▲ 5.1	▲ 5.5
325 蛋白アミノ酸製剤	2	2	2	2	2	2	▲ 2.4	4.1	5.4	▲ 27.5	▲ 5.8
33 血液・体液用薬	97	89	89	91	82	73	▲ 8.3	0.4	1.6	▲ 10.0	▲ 11.0
39 その他の代謝性医薬品	90	92	97	110	102	105	1.5	5.4	13.3	▲ 6.6	2.2
396 糖尿病用剤	29	28	28	32	30	28	▲ 2.0	0.5	13.8	▲ 6.1	▲ 8.0
399 他に分類されない代謝性医薬品	48	51	56	65	61	57	6.5	10.5	15.3	▲ 7.2	▲ 5.3
42 腫瘍用薬	39	40	45	48	40	35	2.4	13.9	5.7	▲ 17.0	▲ 12.2
422 代謝拮抗剤	5	8	12	13	11	10	63.7	39.8	11.7	▲ 12.8	▲ 14.8
429 その他の腫瘍用薬	33	30	31	32	27	23	▲ 10.8	5.4	2.5	▲ 16.5	▲ 13.2
44 アレルギー用薬	98	98	100	113	100	94	0.1	1.6	13.5	▲ 12.1	▲ 5.1
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
61 抗生物質製剤	27	25	25	16	14	13	▲ 8.0	0.0	▲ 35.1	▲ 12.3	▲ 10.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	11	10	10	5	4	4	▲ 7.3	0.2	▲ 55.8	▲ 5.1	▲ 4.4
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	13	12	11	8	6	6	▲ 11.9	▲ 3.8	▲ 31.6	▲ 15.4	▲ 8.1
62 化学療法剤	25	25	25	22	18	17	1.6	0.5	▲ 14.1	▲ 15.6	▲ 9.1
624 合成抗菌剤	9	8	8	5	5	4	▲ 9.4	▲ 3.2	▲ 29.0	▲ 12.4	▲ 7.2
625 抗ウイルス剤	9	11	11	10	8	7	22.0	2.3	▲ 15.0	▲ 18.9	▲ 6.2

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

10-2. 薬効分類別の状況(7)(内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、ビタミン剤の61.4%が最も高く、次いで呼吸器官用薬の61.3%となっている。対前年度差は、ビタミン剤が+11.1%で最も高く、消化器官用薬が▲2.9%で最も低い。

表10-2 内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)						対前年度差(%)				
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
内服薬 総数	19.2	20.5	20.8	21.9	21.5	21.2	1.2	0.3	1.1	▲ 0.4	▲ 0.3
11 中枢神経系用薬	12.3	12.9	15.2	19.7	24.4	26.5	0.6	2.4	4.5	4.7	2.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	28.5	31.7	33.4	34.2	42.7	50.0	3.2	1.7	0.8	8.5	7.3
114 解熱鎮痛消炎剤	12.5	14.6	21.7	38.0	46.4	49.2	2.0	7.1	16.4	8.4	2.8
116 抗パーキンソン剤	6.4	8.9	9.7	10.1	9.3	8.7	2.5	0.8	0.4	▲ 0.7	▲ 0.7
117 精神神経用剤	12.3	12.5	17.0	17.2	19.3	22.8	0.2	4.5	0.2	2.0	3.5
119 その他中枢神経系用薬	11.9	10.8	10.6	20.0	31.2	27.2	▲ 1.2	▲ 0.2	9.4	11.2	▲ 3.9
21 循環器官用薬	28.0	35.0	35.9	38.2	37.9	39.7	7.0	0.9	2.3	▲ 0.2	1.8
212 不整脈用剤	29.4	41.3	46.3	52.0	53.2	58.3	11.8	5.1	5.7	1.2	5.1
214 血圧降下剤	25.7	36.6	39.0	38.8	40.5	41.6	10.9	2.4	▲ 0.3	1.7	1.1
217 血管拡張剤	59.9	65.1	68.6	71.7	73.2	77.3	5.2	3.5	3.1	1.5	4.1
218 高脂血症用剤	27.6	36.5	36.1	43.0	44.2	52.6	8.9	▲ 0.3	6.9	1.2	8.4
22 呼吸器官用薬	43.4	50.4	54.4	60.1	61.3	61.3	7.1	4.0	5.7	1.2	▲ 0.0
23 消化器官用薬	32.3	33.0	31.2	29.7	27.6	24.7	0.7	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 2.1	▲ 2.9
232 消化性潰瘍用剤	31.8	32.4	30.8	28.8	26.5	21.6	0.7	▲ 1.6	▲ 2.1	▲ 2.2	▲ 4.9
239 その他の消化器官用薬	20.7	21.2	21.1	22.3	19.6	19.6	0.5	▲ 0.1	1.2	▲ 2.7	▲ 0.1
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	12.9	16.0	17.1	25.3	25.0	23.3	3.1	1.1	8.2	▲ 0.2	▲ 1.7
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	10.0	9.4	16.1	19.8	23.1	23.3	▲ 0.6	6.7	3.8	3.3	0.2
31 ビタミン剤	28.0	25.9	24.3	39.9	50.3	61.4	▲ 2.0	▲ 1.6	15.6	10.3	11.1
32 滋養強壮薬	7.5	8.3	8.4	7.8	7.4	7.1	0.7	0.1	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.3
325 蛋白アミノ酸製剤	4.0	4.0	4.0	3.6	2.6	2.5	0.1	▲ 0.0	▲ 0.4	▲ 1.0	▲ 0.1
33 血液・体液用薬	23.4	22.3	21.2	20.6	19.0	17.5	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 0.6	▲ 1.6	▲ 1.5
39 その他の代謝性医薬品	11.1	11.2	10.9	10.8	10.0	10.6	0.1	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.8	0.5
396 糖尿病用剤	7.1	6.9	6.4	6.3	6.0	5.5	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 0.5
399 他に分類されない代謝性医薬品	14.6	15.7	16.1	16.1	14.8	14.1	1.0	0.4	0.1	▲ 1.4	▲ 0.7
42 腫瘍用薬	10.0	9.3	8.9	7.8	6.1	5.0	▲ 0.7	▲ 0.4	▲ 1.1	▲ 1.7	▲ 1.0
422 代謝拮抗剤	12.1	24.1	39.7	49.0	50.9	52.9	12.0	15.6	9.3	1.9	2.0
429 その他の腫瘍用薬	9.9	7.7	6.6	5.5	4.3	3.5	▲ 2.2	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 1.2	▲ 0.8
44 アレルギー用薬	32.9	37.8	38.8	44.0	42.7	42.4	4.9	1.0	5.2	▲ 1.3	▲ 0.3
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
61 抗生物質製剤	31.3	34.6	37.0	30.0	28.1	26.2	3.3	2.4	▲ 6.9	▲ 1.9	▲ 1.9
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	28.7	31.8	34.7	20.2	20.2	19.4	3.1	2.9	▲ 14.5	▲ 0.0	▲ 0.7
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	44.0	49.3	53.1	56.3	56.4	60.7	5.4	3.8	3.3	0.0	4.4
62 化学療法剤	8.3	9.1	11.1	10.4	9.5	7.3	0.7	2.0	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 2.3
624 合成抗菌剤	24.0	27.7	29.3	33.8	32.2	31.7	3.7	1.6	4.5	▲ 1.6	▲ 0.5
625 抗ウイルス剤	3.8	4.9	6.5	5.9	5.3	4.0	1.1	1.7	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 1.4

注)表示していない項目(薬効)がある。

11. 都道府県別の状況(1)(調剤医療費の内訳)

調剤医療費の内訳を都道府県別にみると、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も高い北海道では、技術料の割合が23.6%、薬剤料の割合が76.2%となっていた。一方、最も低い佐賀県では技術料の割合が32.5%、薬剤料の割合が67.3%となっていた。

薬剤料全体の伸び率が+0.2%(最高:福井県+1.6%、最低:高知県▲5.6%)であるのに対し、後発医薬品の伸び率は▲1.2%(最高:愛知県+0.2%、最低:岩手県▲4.3%)であった。

表11-1 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳

令和4年度

	総 額 (単位:億円)								処方箋1枚当たり (単位:円)				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合 (%)	薬剤料	後発医薬品	構成割合 (%)	特定保険医療材料	構成割合 (%)	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料		
全 国	78,332	21,264	27.1	56,908	11,256	72.6	161	0.2	9,392	2,550	6,823	1,350	19
北海道	3,764	887	23.6	2,868	583	76.2	8	0.2	11,197	2,640	8,532	1,735	25
青 森	922	239	25.9	681	139	73.8	2	0.2	9,901	2,566	7,312	1,493	24
岩 手	847	216	25.5	629	138	74.3	1	0.2	10,228	2,608	7,603	1,665	17
宮 城	1,514	402	26.5	1,109	227	73.2	4	0.2	9,486	2,517	6,946	1,423	23
秋 田	766	188	24.6	576	121	75.2	2	0.2	10,657	2,619	8,014	1,683	24
山 形	712	198	27.7	512	113	72.0	2	0.3	9,287	2,577	6,684	1,480	26
福 島	1,154	307	26.6	845	183	73.2	2	0.1	9,750	2,596	7,140	1,548	14
茨 城	1,804	443	24.6	1,358	269	75.3	3	0.2	10,322	2,536	7,767	1,538	19
栃 木	1,115	300	26.9	813	176	72.9	3	0.3	9,241	2,484	6,734	1,461	23
群 馬	1,050	278	26.5	770	159	73.3	2	0.2	9,522	2,524	6,979	1,440	19
埼 玉	4,112	1,132	27.5	2,973	620	72.3	8	0.2	9,103	2,505	6,581	1,373	17
千 葉	3,615	955	26.4	2,652	542	73.4	8	0.2	9,574	2,530	7,024	1,436	20
東 京	9,031	2,489	27.6	6,526	1,209	72.3	16	0.2	9,066	2,499	6,551	1,213	16
神奈川	5,858	1,599	27.3	4,249	818	72.5	10	0.2	9,145	2,497	6,633	1,276	16
新 潟	1,354	370	27.3	982	214	72.5	2	0.2	9,220	2,520	6,685	1,454	15
富 山	603	148	24.5	454	85	75.3	1	0.2	10,643	2,603	8,014	1,495	26
石 川	672	168	25.1	502	93	74.7	1	0.2	10,835	2,715	8,097	1,503	23
福 井	393	95	24.3	297	55	75.5	1	0.3	10,670	2,588	8,055	1,496	28
山 梨	502	137	27.3	364	79	72.6	1	0.2	9,291	2,532	6,744	1,471	14
長 野	1,308	342	26.1	963	195	73.7	2	0.2	10,390	2,717	7,655	1,552	18
岐 阜	1,154	326	28.2	826	166	71.6	2	0.2	8,900	2,513	6,368	1,283	19
静 岡	2,154	619	28.7	1,530	322	71.0	5	0.2	8,826	2,537	6,270	1,319	19
愛 知	4,118	1,167	28.3	2,943	578	71.5	8	0.2	8,804	2,494	6,293	1,237	17
三 重	1,032	286	27.8	743	147	72.0	2	0.2	9,078	2,520	6,540	1,293	18
滋 賀	825	217	26.2	605	117	73.3	4	0.4	9,921	2,604	7,274	1,406	43
京 都	1,550	373	24.0	1,173	200	75.7	4	0.3	10,952	2,632	8,288	1,414	31
大 阪	5,611	1,534	27.3	4,066	741	72.5	11	0.2	9,543	2,609	6,915	1,261	19
兵 庫	3,509	965	27.5	2,538	470	72.3	6	0.2	9,229	2,538	6,674	1,236	16
奈 良	665	200	30.1	464	95	69.7	1	0.1	8,613	2,595	6,007	1,237	12
和歌山	564	145	25.7	417	76	74.0	2	0.3	10,007	2,575	7,402	1,349	30
鳥 取	359	95	26.4	263	51	73.4	1	0.2	10,233	2,703	7,510	1,464	19
島 根	473	135	28.5	337	72	71.3	1	0.2	9,587	2,730	6,834	1,463	22
岡 山	1,005	291	28.9	712	149	70.9	2	0.2	8,956	2,592	6,346	1,324	19
広 島	1,848	511	27.7	1,333	251	72.1	4	0.2	9,215	2,550	6,646	1,250	19
山 口	922	264	28.6	656	136	71.2	2	0.2	8,947	2,561	6,372	1,318	15
徳 島	438	115	26.4	321	57	73.4	1	0.2	10,191	2,690	7,480	1,328	22
香 川	668	172	25.8	493	86	73.9	2	0.4	10,139	2,613	7,491	1,300	36
愛 媛	815	213	26.2	599	114	73.5	3	0.3	10,004	2,617	7,355	1,400	32
高 知	487	118	24.2	368	71	75.7	1	0.2	11,174	2,701	8,456	1,630	17
福 岡	3,297	977	29.6	2,314	454	70.2	6	0.2	8,434	2,498	5,920	1,161	16
佐 賀	543	176	32.5	365	77	67.3	1	0.3	7,944	2,580	5,343	1,131	21
長 崎	927	262	28.2	663	137	71.5	2	0.2	9,302	2,627	6,654	1,376	21
熊 本	1,043	302	28.9	739	159	70.8	2	0.2	8,666	2,508	6,139	1,320	19
大 分	769	208	27.1	559	115	72.7	1	0.2	9,613	2,605	6,992	1,442	17
宮 崎	701	201	28.6	499	109	71.2	1	0.2	8,810	2,522	6,273	1,368	15
鹿 児 島	982	294	30.0	686	159	69.8	2	0.2	8,744	2,620	6,103	1,411	21
沖 縄	777	204	26.2	570	127	73.4	3	0.4	9,632	2,525	7,068	1,576	39

注)保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

表11-2 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳 (対前年度比)

	総 額								処方箋1枚当たり				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合	薬剤料	後発医薬品	構成割合	特定保険 医療材料 料	構成割合	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険 医療材料 料		
全 国	1.7	5.8	1.1	0.2	▲ 1.2	▲ 1.1	2.8	0.0	▲ 2.7	1.3	▲ 4.1	▲ 5.4	▲ 1.6
北海道	0.8	3.8	0.7	▲ 0.1	▲ 3.3	▲ 0.7	2.6	0.0	▲ 1.9	1.1	▲ 2.7	▲ 5.9	▲ 0.1
青 森	0.1	2.3	0.5	▲ 0.6	▲ 3.1	▲ 0.6	2.0	0.0	▲ 0.7	1.5	▲ 1.4	▲ 3.9	1.3
岩 手	0.9	2.8	0.5	0.2	▲ 4.3	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 0.0	▲ 0.9	1.0	▲ 1.5	▲ 5.9	▲ 2.8
宮 城	2.2	4.9	0.7	1.3	▲ 2.0	▲ 0.7	3.9	0.0	▲ 1.0	1.6	▲ 2.0	▲ 5.1	0.6
秋 田	▲ 1.0	1.6	0.6	▲ 1.8	▲ 3.6	▲ 0.6	1.6	0.0	▲ 1.6	1.0	▲ 2.4	▲ 4.1	1.1
山 形	1.6	5.1	0.9	0.3	▲ 1.1	▲ 0.9	6.0	0.0	▲ 1.7	1.6	▲ 3.0	▲ 4.3	2.5
福 島	▲ 0.4	3.9	1.1	▲ 1.9	▲ 2.9	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 0.0	▲ 2.6	1.5	▲ 4.1	▲ 5.1	▲ 3.0
茨 城	1.9	5.6	0.9	0.7	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 3.4	▲ 0.0	▲ 2.5	1.1	▲ 3.6	▲ 5.3	▲ 7.5
栃 木	2.0	6.0	1.0	0.5	▲ 0.6	▲ 1.0	▲ 3.2	▲ 0.0	▲ 2.3	1.6	▲ 3.7	▲ 4.8	▲ 7.3
群 馬	2.5	5.8	0.8	1.3	▲ 1.0	▲ 0.8	4.7	0.0	▲ 2.0	1.2	▲ 3.1	▲ 5.3	0.1
埼 玉	2.4	6.6	1.1	0.9	▲ 0.6	▲ 1.1	7.3	0.0	▲ 2.5	1.5	▲ 3.9	▲ 5.4	2.2
千 葉	2.6	6.9	1.1	1.1	▲ 0.4	▲ 1.1	2.3	▲ 0.0	▲ 2.4	1.6	▲ 3.8	▲ 5.2	▲ 2.7
東 京	2.2	6.6	1.2	0.6	0.0	▲ 1.2	0.3	▲ 0.0	▲ 2.9	1.4	▲ 4.4	▲ 4.9	▲ 4.6
神 奈 川	2.2	6.1	1.0	0.8	▲ 0.3	▲ 1.0	0.7	▲ 0.0	▲ 2.3	1.4	▲ 3.6	▲ 4.7	▲ 3.8
新 潟	0.3	3.6	0.9	▲ 0.8	▲ 2.9	▲ 0.9	▲ 6.3	▲ 0.0	▲ 1.7	1.6	▲ 2.8	▲ 4.8	▲ 8.2
富 山	1.4	3.5	0.5	0.8	▲ 2.8	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 2.2	▲ 0.2	▲ 2.8	▲ 6.3	▲ 3.7
石 川	2.2	5.9	0.9	1.1	▲ 1.3	▲ 0.9	▲ 5.8	▲ 0.0	▲ 3.2	0.3	▲ 4.3	▲ 6.5	▲ 10.8
福 井	2.6	5.8	0.7	1.6	▲ 1.7	▲ 0.8	15.1	0.0	▲ 2.5	0.5	▲ 3.4	▲ 6.6	9.5
山 梨	0.9	5.0	1.1	▲ 0.5	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 12.4	▲ 0.0	▲ 3.1	0.8	▲ 4.5	▲ 5.3	▲ 15.9
長 野	0.9	5.1	1.0	▲ 0.5	▲ 1.4	▲ 1.0	▲ 1.8	▲ 0.0	▲ 2.8	1.2	▲ 4.2	▲ 5.1	▲ 5.5
岐 阜	1.9	6.3	1.2	0.3	▲ 1.1	▲ 1.2	3.4	0.0	▲ 3.3	0.9	▲ 4.8	▲ 6.1	▲ 1.9
静 岡	1.6	5.3	1.0	0.1	▲ 1.4	▲ 1.0	7.6	0.0	▲ 2.4	1.2	▲ 3.8	▲ 5.2	3.3
愛 知	3.1	7.2	1.1	1.5	0.2	▲ 1.1	5.8	0.0	▲ 3.1	0.8	▲ 4.5	▲ 5.8	▲ 0.5
三 重	2.8	6.2	0.9	1.6	▲ 0.8	▲ 0.9	2.0	▲ 0.0	▲ 2.1	1.1	▲ 3.3	▲ 5.5	▲ 2.9
滋 賀	1.9	6.8	1.2	0.2	▲ 0.5	▲ 1.2	5.9	0.0	▲ 3.9	0.8	▲ 5.4	▲ 6.1	0.0
京 都	1.3	6.5	1.2	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 1.2	5.5	0.0	▲ 3.8	1.1	▲ 5.3	▲ 5.4	0.2
大 阪	2.2	7.0	1.2	0.5	▲ 0.8	▲ 1.2	6.9	0.0	▲ 3.1	1.4	▲ 4.7	▲ 5.9	1.3
兵 庫	1.1	5.4	1.1	▲ 0.4	▲ 1.0	▲ 1.1	3.9	0.0	▲ 2.9	1.3	▲ 4.4	▲ 4.9	▲ 0.2
奈 良	1.2	6.2	1.4	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 1.4	4.1	0.0	▲ 3.1	1.6	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 0.3
和 歌 山	2.2	5.6	0.8	1.0	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 2.0	▲ 0.0	▲ 1.9	1.4	▲ 3.0	▲ 5.0	▲ 5.9
鳥 取	1.1	2.7	0.4	0.5	▲ 1.6	▲ 0.4	▲ 6.6	▲ 0.0	▲ 0.4	1.1	▲ 1.0	▲ 3.1	▲ 8.0
島 根	0.1	3.8	1.0	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 1.0	▲ 6.3	▲ 0.0	▲ 2.9	0.7	▲ 4.2	▲ 3.8	▲ 9.2
岡 山	1.2	5.6	1.2	▲ 0.5	▲ 2.8	▲ 1.2	2.6	0.0	▲ 2.2	2.1	▲ 3.8	▲ 6.1	▲ 0.9
広 島	1.3	5.7	1.2	▲ 0.3	▲ 1.4	▲ 1.2	0.5	▲ 0.0	▲ 2.5	1.8	▲ 4.1	▲ 5.1	▲ 3.3
山 口	0.2	3.6	0.9	▲ 1.1	▲ 2.4	▲ 0.9	3.1	0.0	▲ 2.3	1.0	▲ 3.6	▲ 4.9	0.5
徳 島	1.8	6.3	1.1	0.3	▲ 2.4	▲ 1.1	5.4	0.0	▲ 1.4	2.9	▲ 2.9	▲ 5.5	2.0
香 川	2.2	5.6	0.8	1.2	▲ 2.3	▲ 0.8	▲ 7.9	▲ 0.0	▲ 1.5	1.8	▲ 2.5	▲ 5.8	▲ 11.2
愛 媛	0.2	6.5	1.5	▲ 1.8	▲ 0.5	▲ 1.5	1.5	0.0	▲ 3.7	2.3	▲ 5.7	▲ 4.4	▲ 2.5
高 知	▲ 3.9	1.6	1.3	▲ 5.6	▲ 3.4	▲ 1.3	3.7	0.0	▲ 4.9	0.6	▲ 6.6	▲ 4.4	2.6
福 岡	1.5	6.7	1.4	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 1.5	7.5	0.0	▲ 3.5	1.4	▲ 5.5	▲ 6.0	2.1
佐 賀	1.5	5.3	1.2	▲ 0.4	▲ 2.1	▲ 1.2	21.2	0.0	▲ 1.8	1.9	▲ 3.6	▲ 5.3	17.3
長 崎	▲ 0.4	4.0	1.2	▲ 2.0	▲ 1.9	▲ 1.2	8.2	0.0	▲ 2.6	1.7	▲ 4.2	▲ 4.1	5.8
熊 本	▲ 0.4	6.0	1.7	▲ 2.8	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 5.5	▲ 0.0	▲ 5.2	0.8	▲ 7.5	▲ 6.8	▲ 10.1
大 分	0.2	4.1	1.0	▲ 1.1	▲ 1.7	▲ 1.0	1.8	0.0	▲ 3.4	0.3	▲ 4.7	▲ 5.2	▲ 1.9
宮 崎	2.0	5.1	0.8	0.9	▲ 2.5	▲ 0.8	2.7	0.0	▲ 1.4	1.5	▲ 2.6	▲ 5.9	▲ 0.8
鹿 児 島	1.4	4.9	1.0	▲ 0.1	▲ 2.3	▲ 1.1	30.3	0.1	▲ 1.4	2.0	▲ 2.8	▲ 5.0	26.8
沖 縄	2.3	7.5	1.3	0.5	▲ 0.3	▲ 1.3	▲ 3.1	▲ 0.0	▲ 4.5	0.4	▲ 6.1	▲ 6.9	▲ 9.5

注1) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

注2) 構成割合は対前年度差を示している。

12. 都道府県別の状況(2)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、高知県が6,904円と最も高く、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、3.06、30.9日、73円となっていた。一方、佐賀県が4,301円と最も低く、3要素に分解すると、2.84、22.9日、66円となっていた。

表12 都道府県別 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

令和4年度

	実 額				対前年度比 (単位:%)			
	処方箋1枚当たり薬剤料 (円)				処方箋1枚当たり薬剤料			
	処方箋1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数(日)	1種類1日当たり薬剤料(円)		処方箋1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数	1種類1日当たり薬剤料	
全 国	5,389	2.76	27.9	70	▲ 4.9	0.0	▲ 0.4	▲ 4.5
北海道	6,811	3.01	33.3	68	▲ 3.2	▲ 0.4	0.4	▲ 3.2
青 森	5,995	2.85	31.0	68	▲ 2.1	0.1	1.5	▲ 3.7
岩 手	6,205	2.85	33.0	66	▲ 1.8	▲ 0.3	1.0	▲ 2.5
宮 城	5,460	2.73	29.3	68	▲ 3.2	▲ 0.1	0.4	▲ 3.5
秋 田	6,531	2.99	32.3	68	▲ 2.6	0.2	0.8	▲ 3.5
山 形	5,445	2.78	29.1	67	▲ 3.4	▲ 0.0	0.4	▲ 3.8
福 島	5,813	2.89	30.7	66	▲ 4.8	▲ 0.6	0.8	▲ 4.9
茨 城	6,218	2.80	31.2	71	▲ 4.6	▲ 0.3	0.1	▲ 4.5
栃 木	5,465	2.83	28.4	68	▲ 4.2	0.1	0.3	▲ 4.5
群 馬	5,564	2.82	28.4	70	▲ 3.7	▲ 0.3	0.1	▲ 3.6
埼 玉	5,206	2.69	28.7	67	▲ 4.7	0.4	▲ 0.6	▲ 4.5
千 葉	5,598	2.65	30.4	70	▲ 4.4	0.4	▲ 0.7	▲ 4.1
東 京	5,114	2.61	27.0	73	▲ 5.4	0.5	▲ 1.2	▲ 4.7
神奈川	5,158	2.58	28.1	71	▲ 4.8	0.8	▲ 0.8	▲ 4.7
新 潟	5,269	2.57	31.7	65	▲ 3.7	▲ 0.2	0.8	▲ 4.3
富 山	6,433	2.79	31.4	74	▲ 4.1	▲ 0.4	0.0	▲ 3.8
石 川	6,511	2.93	30.2	74	▲ 5.2	▲ 0.8	▲ 0.7	▲ 3.7
福 井	6,574	2.90	30.2	75	▲ 4.3	▲ 0.7	▲ 0.3	▲ 3.3
山 梨	5,380	2.66	31.3	65	▲ 5.5	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 5.1
長 野	6,079	2.78	31.6	69	▲ 5.3	▲ 0.6	0.2	▲ 5.0
岐 阜	4,972	2.80	26.5	67	▲ 5.5	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 4.2
静 岡	4,937	2.65	28.1	66	▲ 4.3	0.4	▲ 0.5	▲ 4.2
愛 知	4,881	2.68	25.7	71	▲ 5.4	▲ 0.1	▲ 1.0	▲ 4.4
三 重	5,210	2.69	27.4	71	▲ 3.9	▲ 0.6	▲ 0.0	▲ 3.3
滋 賀	5,657	2.65	29.9	71	▲ 6.5	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 5.4
京 都	6,444	2.84	29.1	78	▲ 6.7	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 5.8
大 阪	5,410	2.87	25.5	74	▲ 5.7	▲ 0.0	▲ 1.0	▲ 4.7
兵 庫	5,116	2.67	26.6	72	▲ 5.5	0.2	▲ 0.4	▲ 5.3
奈 良	4,840	2.69	28.2	64	▲ 5.4	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 5.1
和歌山	5,922	2.87	28.2	73	▲ 3.3	▲ 0.1	0.1	▲ 3.3
鳥 取	6,094	2.87	27.9	76	▲ 1.9	▲ 0.3	1.4	▲ 3.0
島 根	5,478	2.96	27.8	67	▲ 5.4	▲ 0.6	1.2	▲ 6.0
岡 山	5,070	2.87	26.8	66	▲ 4.4	▲ 0.6	0.2	▲ 4.1
広 島	5,180	2.83	25.5	72	▲ 5.0	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 4.9
山 口	5,031	2.73	26.6	69	▲ 4.4	▲ 0.5	0.3	▲ 4.3
徳 島	5,948	2.97	26.6	75	▲ 3.6	▲ 0.4	1.0	▲ 4.1
香 川	5,942	2.76	27.3	79	▲ 2.8	▲ 0.5	0.3	▲ 2.6
愛 媛	5,816	2.72	28.9	74	▲ 6.1	0.1	0.4	▲ 6.6
高 知	6,904	3.06	30.9	73	▲ 7.7	▲ 0.1	1.3	▲ 8.8
福 岡	4,718	2.86	23.7	69	▲ 6.3	▲ 0.0	▲ 0.9	▲ 5.4
佐 賀	4,301	2.84	22.9	66	▲ 3.7	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 3.5
長 崎	5,272	3.01	26.7	66	▲ 4.7	0.4	0.7	▲ 5.7
熊 本	4,987	3.01	25.4	65	▲ 8.2	0.7	▲ 1.1	▲ 7.8
大 分	5,694	3.09	26.6	69	▲ 5.0	▲ 0.5	0.1	▲ 4.7
宮 崎	4,961	2.86	26.5	65	▲ 2.9	0.3	▲ 0.5	▲ 2.7
鹿 児 島	4,894	2.98	25.8	64	▲ 3.3	▲ 0.0	0.2	▲ 3.5
沖 縄	5,437	2.72	30.3	66	▲ 6.8	▲ 0.3	▲ 2.6	▲ 4.0

注) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

13. 都道府県別の状況(3)(後発医薬品割合)

令和4年度末における後発医薬品割合を都道府県別にみると、数量ベース(新指標)で最も高かったのは沖縄県の90.4%であった。また、薬剤料ベースで最も高かったのは鹿児島県の23.9%であった。一方、数量ベース(新指標)で最も低かったのは東京都の80.2%であり、薬剤料ベースで最も低かったのは京都府の18.2%であった。

対前年同期差をみると、数量ベース(新指標)で最も高かったのは和歌山県の+2.3%であった。また、薬剤料ベースで最も高かったのは愛媛県の+1.6%であった。一方、数量ベース(新指標)で最も低かったのは沖縄県の+1.1%であり、薬剤料ベースが最も低かったのは青森県の▲0.2%であった。

令和5年3月
(単位:%)

表13 都道府県別 後発医薬品割合

	後発医薬品割合			後発医薬品 調剤率	対前年同期差			後発医薬品 調剤率
	数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース		数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース	
全国	83.7	60.0	20.8	80.3	1.6	0.8	0.6	1.6
北海道	84.9	60.6	21.0	82.3	1.4	0.2	0.2	1.3
青森	83.8	61.0	20.8	81.6	1.6	0.9	▲ 0.2	1.1
岩手	87.6	62.8	22.7	83.6	1.2	0.2	▲ 0.2	1.0
宮城	86.0	61.1	21.5	82.6	1.6	1.1	0.3	1.5
秋田	85.0	61.1	21.7	83.2	1.7	0.8	0.4	1.2
山形	87.5	63.7	23.0	84.0	1.9	1.1	0.6	1.6
福島	85.2	61.4	22.6	84.2	1.9	0.9	0.5	1.4
茨城	83.5	60.6	20.9	80.8	1.7	1.2	0.5	1.5
栃木	85.9	62.3	23.0	83.5	1.7	0.9	0.6	1.6
群馬	86.1	62.1	21.9	83.1	1.5	0.4	0.5	1.5
埼玉	84.4	60.9	22.1	81.3	1.7	0.7	0.6	1.6
千葉	84.2	60.6	21.5	80.6	1.7	0.9	0.6	1.7
東京	80.2	56.3	19.6	76.1	1.7	1.1	0.6	1.7
神奈川	82.1	58.7	20.4	77.6	1.7	1.2	0.6	1.8
新潟	85.6	62.2	22.4	82.9	1.7	1.3	0.3	1.8
富山	85.2	60.8	19.3	81.4	1.6	0.5	0.0	1.4
石川	84.1	59.4	19.3	80.0	1.6	1.0	0.7	1.7
福井	84.9	61.1	19.9	81.7	1.7	0.9	0.9	2.0
山梨	83.4	60.9	22.8	79.1	1.5	1.2	1.0	1.8
長野	86.0	62.3	21.5	81.4	1.6	1.2	1.0	1.5
岐阜	83.3	59.5	21.3	81.8	1.8	0.9	0.6	1.5
静岡	85.0	61.6	22.2	81.9	1.6	0.7	0.4	1.5
愛知	84.7	59.9	20.9	81.7	1.7	0.7	0.8	1.7
三重	84.3	60.4	21.0	80.9	1.7	0.6	0.4	1.6
滋賀	84.3	61.2	20.8	80.5	1.9	1.4	1.0	1.8
京都	81.6	58.0	18.2	78.1	2.0	1.4	1.0	1.6
大阪	81.5	58.1	19.1	78.3	1.6	0.7	0.6	1.4
兵庫	82.9	59.2	19.5	78.7	1.6	0.7	0.8	1.5
奈良	81.2	58.9	22.2	78.2	1.8	0.9	1.3	1.8
和歌山	82.4	58.7	19.1	78.9	2.3	1.3	0.5	2.1
鳥取	86.5	63.0	20.2	80.7	1.9	1.2	0.5	1.6
島根	87.1	63.5	22.4	82.5	2.0	1.4	1.0	1.6
岡山	84.8	61.3	22.1	81.1	1.3	0.8	0.6	1.6
広島	82.2	58.2	19.9	79.9	1.8	1.1	0.7	1.8
山口	85.9	62.4	21.5	82.5	1.6	0.8	0.6	1.0
徳島	80.2	57.7	18.5	79.4	1.7	0.5	0.8	1.5
香川	81.6	57.8	18.7	78.5	1.5	0.8	0.9	1.8
愛媛	85.1	61.7	20.4	81.7	1.9	1.0	1.6	2.2
高知	80.7	59.1	20.4	79.2	1.3	0.5	1.3	1.4
福岡	84.5	60.0	20.1	81.4	1.5	0.6	0.4	1.4
佐賀	85.6	62.2	21.9	82.9	1.3	1.4	0.0	1.2
長崎	85.0	60.8	21.5	82.6	1.6	0.7	1.0	1.5
熊本	86.5	62.3	22.3	85.2	1.5	0.0	1.1	1.4
大分	84.4	61.3	21.6	82.4	1.5	0.4	0.8	1.5
宮崎	87.5	63.1	22.9	84.8	1.6	0.2	0.4	1.6
鹿児島	88.8	64.7	23.9	85.0	1.6	0.4	0.3	1.2
沖縄	90.4	67.4	23.0	85.9	1.1	0.7	0.8	1.3

注) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

14. 処方箋発行元医療機関別分析

調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科病院が3兆2,948億円であり、医科診療所が4兆5,095億円であった。医科診療所の中では、内科が2兆3,979億円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費は、医科診療所が6,922円であったのに対し、医科病院が18,908円と高く、中でも大学病院が36,917円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費の伸び率が最も高かったのは皮膚科の+2.1%であり、最も低かったのは小児科の▲3.6%であった。

令和4年度末の後発医薬品割合(数量ベース、新指標)をみると、医科病院では83.9%、医科診療所では83.7%であった。医科の中で最も高かったのは産婦人科の89.1%であり、最も低かったのは大学病院の76.4%であった。医科の中で伸び幅が最も大きかったのは大学病院の+1.9%であり、最も小さかったのは眼科の+0.6%であった。

表14-1 調剤医療費の内訳(総額)

令和4年度

	実数	総数																					
		医科																		歯科			
		病院								診療所										病院	診療所		
		大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他						
調剤医療費(億円)	78,332	78,043	32,948	6,397	14,170	12,308	73	9,048	23,900	45,095	23,979	1,884	1,354	3,125	2,881	578	1,851	2,640	6,802	161	65	96	
処方箋枚数(万枚)	83,401	82,574	17,425	1,733	6,029	9,592	71	7,797	9,628	65,149	27,995	4,352	1,792	6,025	5,565	831	4,524	5,697	8,368	660	211	450	
対前年(%)																							
調剤医療費	1.7	1.6	0.3	1.6	1.2	▲1.4	▲10.9	▲1.9	1.1	2.6	2.4	11.2	▲1.2	▲0.7	2.7	12.0	▲0.2	13.8	▲0.1	0.2	0.1	0.3	
処方箋枚数	4.4	4.4	0.9	0.8	0.6	1.2	▲8.7	1.4	0.5	5.4	5.4	15.3	0.8	2.4	0.6	10.3	2.5	14.4	3.1	▲0.0	0.7	▲0.4	

注1) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。
 注2) 処方箋発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。

表14-2 後発医薬品割合

令和5年3月
(単位:%)

	実数	総数																					
		医科																		歯科			
		病院								診療所										病院	診療所		
		大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他						
数量ベース(新指標)	83.7	83.7	83.9	76.4	84.3	85.0	82.1	85.1	82.9	83.7	84.8	82.4	84.7	81.7	80.9	89.1	77.0	85.7	81.1	88.8	91.0	86.3	
薬剤料ベース	20.8	20.8	14.9	8.2	13.1	21.6	22.9	23.9	12.1	26.3	25.7	23.0	27.7	33.7	17.9	33.2	22.6	33.2	25.8	33.3	28.0	42.9	
対前年																							
数量ベース(新指標)	1.6	1.6	1.6	1.9	1.6	1.5	0.7	1.5	1.6	1.7	1.7	0.9	1.6	1.0	1.3	1.4	0.6	1.2	2.2	0.4	0.3	0.6	
薬剤料ベース	0.6	0.6	0.1	▲0.1	▲0.1	0.6	0.1	0.8	▲0.1	0.9	1.0	1.8	0.6	▲1.2	▲1.1	7.4	▲1.0	1.0	1.8	▲0.6	▲1.4	0.9	

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
 注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

表14-3 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

令和4年度

	総数																					
	医科																			歯科		
	病院	診療所							内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	病院	診療所			
大学病院		公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上																
調剤医療費	9,392	9,451	18,908	36,917	23,503	12,831	10,283	11,605	24,823	6,922	8,566	4,329	7,556	5,186	5,178	6,959	4,092	4,634	8,128	2,438	3,069	2,142
技術料	2,550	2,556	2,783	2,676	2,770	2,811	2,604	2,810	2,760	2,495	2,800	2,318	2,657	2,117	2,117	2,172	1,580	2,257	2,742	1,740	1,716	1,751
構成割合(%)	27.1	27.0	14.7	7.2	11.8	21.9	25.3	24.2	11.1	36.0	32.7	53.5	35.2	40.8	40.9	31.2	38.6	48.7	33.7	71.4	55.9	81.8
調剤技術料	1,292	1,293	1,269	1,203	1,260	1,286	1,187	1,292	1,250	1,300	1,352	1,468	1,320	1,148	1,298	1,166	977	1,309	1,324	1,108	1,035	1,142
調剤基本料	786	786	750	673	749	765	690	774	730	795	811	805	808	776	735	829	774	805	789	787	711	823
薬剤調製料	438	439	471	476	462	476	463	476	468	431	496	412	470	362	325	310	199	435	470	317	317	317
加算料	67	68	47	54	50	45	34	42	52	73	45	251	41	10	238	27	3	69	65	3	6	2
薬学管理料	1,258	1,262	1,514	1,473	1,509	1,525	1,417	1,518	1,511	1,195	1,448	850	1,337	969	819	1,006	603	949	1,418	633	682	610
薬剤料	6,823	6,876	16,064	34,108	20,646	9,988	7,662	8,767	21,973	4,419	5,749	2,010	4,894	3,067	3,060	4,786	2,512	2,377	5,382	697	1,351	391
構成割合(%)	72.6	72.8	85.0	92.4	87.8	77.8	74.5	75.5	88.5	63.8	67.1	46.4	64.8	59.1	59.1	68.8	61.4	51.3	66.2	28.6	44.0	18.2
内服薬	5,394	5,437	12,988	25,334	16,894	8,353	6,178	7,282	17,608	3,417	4,845	1,254	4,164	2,078	1,226	4,228	161	1,709	4,867	547	1,071	302
屯服薬他	40	40	66	96	76	55	38	45	84	33	40	16	36	13	3	16	1	13	82	33	41	29
注射薬	590	596	2,023	7,186	2,518	790	571	646	3,138	214	278	132	139	476	274	83	4	28	82	12	38	1
外用薬	799	804	988	1,492	1,159	790	875	795	1,143	756	585	608	555	500	1,558	460	2,346	626	352	105	201	59
(再掲)後発医薬品	1,350	1,359	2,328	2,764	2,629	2,064	1,710	1,998	2,594	1,100	1,398	456	1,299	1,024	548	1,429	605	747	1,292	230	372	163
特定保険医療材料料	19	19	62	133	87	33	17	28	89	8	17	1	6	2	0	1	0	0	4	0	1	0
構成割合(%)	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.4	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
調剤医療費	▲ 2.7	▲ 2.7	▲ 0.6	0.8	0.6	▲ 2.5	▲ 2.4	▲ 3.2	0.6	▲ 2.6	▲ 2.8	▲ 3.6	▲ 2.0	▲ 3.0	2.1	1.5	▲ 2.6	▲ 0.5	▲ 3.2	0.3	▲ 0.5	0.7
技術料	1.3	1.3	0.6	0.0	0.4	0.9	▲ 0.5	0.8	0.5	1.6	1.5	▲ 0.0	2.0	1.7	1.6	0.9	3.9	2.5	1.1	2.0	2.3	1.9
構成割合(%)	1.1	1.1	0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	0.7	0.5	1.0	▲ 0.0	1.5	1.4	1.9	1.4	1.9	▲ 0.2	▲ 0.2	2.4	1.4	1.4	1.2	1.5	1.0
調剤技術料
調剤基本料
薬剤調製料
加算料
薬学管理料
薬剤料	▲ 4.1	▲ 4.1	▲ 0.8	0.8	0.7	▲ 3.4	▲ 3.0	▲ 4.5	0.7	▲ 4.9	▲ 4.8	▲ 7.3	▲ 4.1	▲ 6.1	2.5	1.8	▲ 6.3	▲ 3.2	▲ 5.2	▲ 3.8	▲ 3.9	▲ 4.3
構成割合(%)	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 0.2	0.1	0.0	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 1.0	0.0	▲ 1.5	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 1.4	▲ 1.9	0.2	0.2	▲ 2.4	▲ 1.4	▲ 1.4	▲ 1.2	▲ 1.5	▲ 1.0
内服薬	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 1.8	▲ 1.5	▲ 0.3	▲ 3.7	▲ 4.0	▲ 4.7	▲ 0.6	▲ 5.4	▲ 5.1	▲ 6.3	▲ 4.1	▲ 8.2	1.0	▲ 1.9	▲ 3.7	▲ 5.3	▲ 5.5	▲ 4.5	▲ 4.6	▲ 5.1
屯服薬他	▲ 3.3	▲ 3.3	▲ 1.4	2.8	0.2	▲ 3.9	4.4	▲ 3.6	▲ 0.2	▲ 3.4	▲ 3.3	9.3	▲ 4.0	▲ 1.8	▲ 0.2	▲ 13.4	▲ 4.1	17.2	▲ 4.9	▲ 1.7	▲ 2.6	▲ 1.2
注射薬	5.1	5.1	8.5	10.7	9.7	3.1	4.1	1.5	10.0	4.8	0.6	▲ 14.0	4.1	3.5	43.8	144.6	▲ 1.0	47.0	19.0	17.2	18.3	▲ 25.8
外用薬	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 4.3	▲ 2.1	▲ 3.0	▲ 6.1	▲ 0.7	▲ 6.6	▲ 2.8	▲ 5.0	▲ 4.5	▲ 8.3	▲ 5.7	▲ 5.5	▲ 1.3	33.9	▲ 6.5	0.8	▲ 5.9	▲ 2.6	▲ 3.7	▲ 1.6
(再掲)後発医薬品	▲ 5.4	▲ 5.4	▲ 4.3	▲ 3.3	▲ 4.0	▲ 4.8	▲ 3.9	▲ 5.0	▲ 3.8	▲ 5.0	▲ 5.5	▲ 6.3	▲ 5.8	▲ 7.1	▲ 5.2	18.4	▲ 0.1	▲ 4.1	▲ 3.2	▲ 6.0	▲ 8.5	▲ 3.6
特定保険医療材料料	▲ 1.6	▲ 1.6	1.2	1.8	1.4	0.8	8.0	▲ 0.4	1.9	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 9.0	2.5	▲ 5.7	8.8	4.3	▲ 6.0	9.7	9.7	21.3	22.6	▲ 40.9
構成割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注1) 「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、運携強化加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。
 注2) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。
 注3) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。
 注4) 処方箋発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。
 注5) 対前年度比(%)の構成割合は対前年度差を示している。
 注6) 令和4年度診療報酬改定において調剤料が薬剤調製料と薬学管理料に分けられたことから、令和4年度の技術料内訳の伸び率は表示していない。

15. 制度別分析

調剤医療費を制度別にみると、総額が最も大きかったのは後期高齢者の2兆7,114億円であった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も大きかったのは公費の11,927円であり、伸び率が最も大きかったのは公費の▲1.0%、最も小さかったのは国保組合の▲3.0%であった。

令和4年度末の後発医薬品割合(数量ベース、新指標)をみると、最も高かったのは公費の90.0%、最も低かったのは国保組合の82.0%であった。伸び幅が最も大きかったのは後期高齢者の+1.9%、最も小さかったのは公費の+1.0%であった。

表15-1 調剤医療費の内訳(総額)

令和4年度

実数	調剤医療費(億円)	総数										公費
		医療保険適用計										
		被用者保険計			国民健康保険計			後期高齢者				
協会一般	共済組合	健保組合	市町村国保	国保組合								
		78,332	74,943	29,229	15,638	3,350	10,196	18,600	17,502	1,097	27,114	3,389
	処方箋枚数(万枚)	83,401	80,560	37,026	19,121	4,496	13,356	18,360	17,091	1,269	25,174	2,841
対前年度比(%)	調剤医療費	1.7	1.7	5.9	3.4	17.1	6.3	▲2.6	▲2.9	1.8	0.6	0.1
	処方箋枚数	4.4	4.5	8.3	6.0	18.3	8.7	▲0.9	▲1.3	5.0	3.4	1.1

注) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。

表15-2 後発医薬品割合

令和5年3月
(単位:%)

実数	数量ベース(新指標)	総数										公費
		医療保険適用計										
		被用者保険計			国民健康保険計			後期高齢者				
協会一般	共済組合	健保組合	市町村国保	国保組合								
		83.7	83.4	84.1	84.4	83.6	83.7	83.5	83.6	82.0	82.7	90.0
	薬剤料ベース	20.8	20.6	19.8	19.9	19.4	19.6	19.6	19.7	18.7	22.3	24.5
同対前年	数量ベース(新指標)	1.6	1.7	1.5	1.5	1.8	1.5	1.6	1.6	1.5	1.9	1.0
	薬剤料ベース	0.6	0.6	0.5	0.5	1.0	0.4	0.3	0.3	0.5	1.0	0.4

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

表15-3 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

令和4年度

		総数										公費	
		医療保険適用計							国民健康保険計				後期高齢者
		被用者保険計			国民健康保険計								
		協会一般	共済組合	健保組合	市町村国保	国保組合							
実数 (円)	調剤医療費	9,392	9,303	7,894	8,179	7,451	7,634	10,131	10,241	8,645	10,771	11,927	
	技術料	2,550	2,531	2,341	2,364	2,302	2,320	2,520	2,532	2,356	2,818	3,088	
	構成割合(%)	27.1	27.2	29.6	28.9	30.9	30.4	24.9	24.7	27.3	26.2	25.9	
	調剤技術料	1,292	1,285	1,277	1,272	1,285	1,280	1,251	1,250	1,270	1,323	1,470	
	調剤基本料	786	784	785	781	786	792	769	767	787	793	833	
	薬剤調製料	438	434	401	408	395	394	429	431	404	485	567	
	加算料	67	67	90	84	104	94	53	51	79	45	70	
	薬学管理料	1,258	1,245	1,064	1,092	1,017	1,040	1,269	1,282	1,086	1,495	1,618	
	薬剤料	6,823	6,753	5,539	5,797	5,137	5,301	7,587	7,684	6,270	7,932	8,809	
	構成割合(%)	72.6	72.6	70.2	70.9	68.9	69.4	74.9	75.0	72.5	73.6	73.9	
	内服薬	5,394	5,332	4,050	4,314	3,601	3,820	6,124	6,228	4,711	6,639	7,167	
	屯服薬他	40	38	42	44	43	39	43	43	42	28	86	
	注射薬	590	588	694	710	711	667	661	657	709	378	667	
	外用薬	799	796	753	730	782	775	759	756	808	887	889	
	(再掲)後発医薬品	1,350	1,324	1,022	1,085	919	966	1,430	1,454	1,102	1,692	2,064	
	特定保険医療材料料	19	19	15	17	12	13	24	25	19	20	30	
	構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
対前年度比 (%)	調剤医療費	▲ 2.7	▲ 2.7	▲ 2.3	▲ 2.4	▲ 1.0	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 1.6	▲ 3.0	▲ 2.7	▲ 1.0	
	技術料	1.3	1.3	1.6	1.6	1.8	1.6	1.6	1.6	1.4	1.2	2.2	
	構成割合(%)	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9	1.1	0.8	0.8	1.2	1.0	0.8	
	調剤技術料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	調剤基本料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬剤調製料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	加算料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬学管理料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬剤料	▲ 4.1	▲ 4.1	▲ 3.8	▲ 3.9	▲ 2.2	▲ 3.7	▲ 2.8	▲ 2.6	▲ 4.6	▲ 4.1	▲ 2.1	
	構成割合(%)	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 0.8	
	内服薬	▲ 4.8	▲ 4.9	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 3.1	▲ 5.0	▲ 3.6	▲ 3.4	▲ 5.7	▲ 4.1	▲ 2.3	
	屯服薬他	▲ 3.3	▲ 3.2	▲ 3.9	▲ 3.6	▲ 2.2	▲ 4.8	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 5.5	▲ 3.7	▲ 3.1	
	注射薬	5.1	5.0	3.9	2.9	4.3	5.4	5.7	6.0	0.9	5.9	6.2	
	外用薬	▲ 5.0	▲ 4.9	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 3.8	▲ 4.0	▲ 3.1	▲ 3.2	▲ 2.7	▲ 7.3	▲ 5.5	
	(再掲)後発医薬品	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 5.3	▲ 5.7	▲ 2.2	▲ 4.9	▲ 4.5	▲ 4.4	▲ 5.5	▲ 4.6	▲ 5.2	
	特定保険医療材料料	▲ 1.6	▲ 1.7	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 3.2	▲ 3.8	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 1.3	2.9	2.3	
	構成割合(%)	0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

注1) 「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、連携強化加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。
 注2) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。
 注3) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。
 注4) 対前年度比(%)の構成割合は対前年度差を示している。
 注5) 令和4年度診療報酬改定において調剤料が薬剤調製料と薬学管理料に分けられたことから、技術料内訳の伸び率は表示していない。

1.7. 後発医薬品割合の市町村別状況

1. 後発医薬品割合の都道府県別分布状況

各都道府県における、市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）の最小値、中央値、最大値等を箱ひげ図により示している。

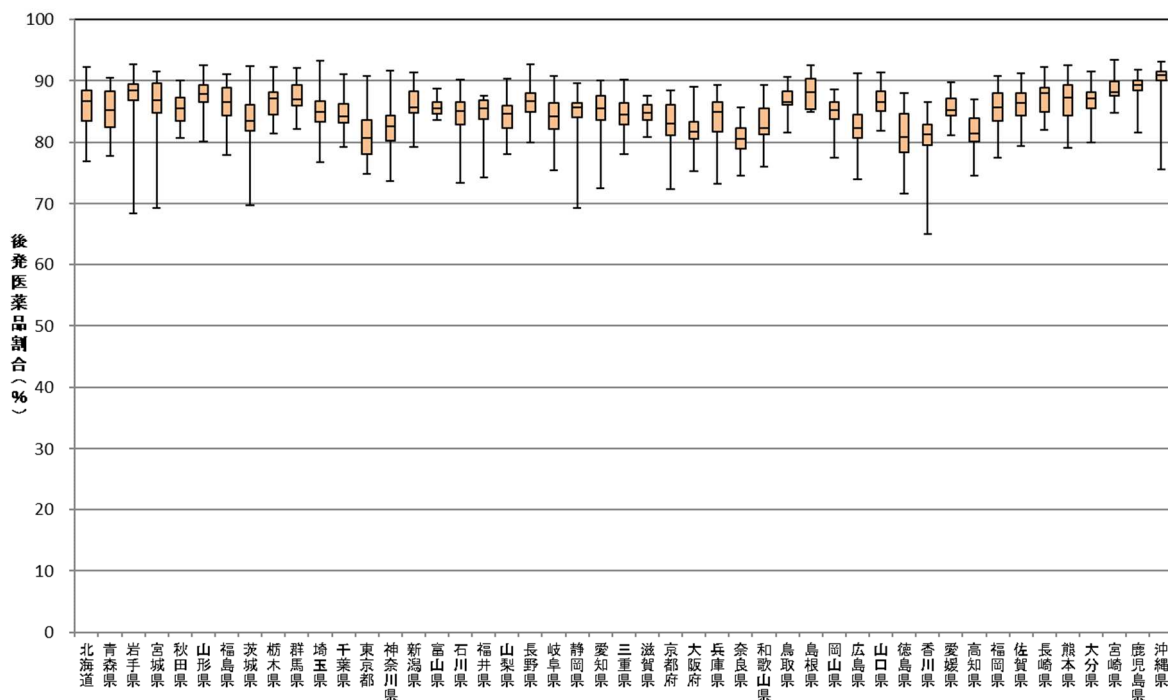
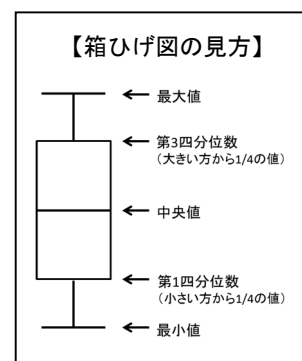


図1 各都道府県における市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）

- (注1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和5年3月調剤分)
- (注2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が3軒以下の地域は除外している。
- (注3) 長方形の下側の辺は第1四分位数、上側の辺は第3四分位数、中央の線は中央値、ひげの両端が最大値、最小値である。



この資料に関する詳細は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

掲載場所 (URL) <https://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/22/gaiyou.html>

2. 後発医薬品割合の特に高い市町村

表 17 市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）（上位 20 位）

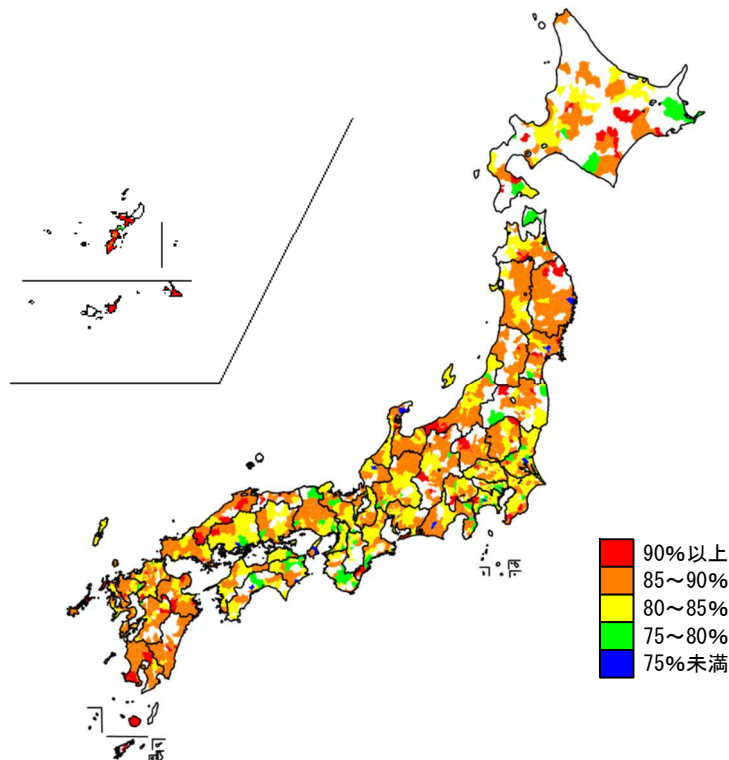
順位	都道府県	市町村名	割合 (%)	順位	都道府県	市町村名	割合 (%)
1	宮崎	児湯郡新富町	93.4	11	茨城	結城郡八千代町	92.4
2	埼玉	秩父郡長瀬町	93.3	12	栃木	那須郡那須町	92.3
3	沖縄	島尻郡八重瀬町	93.2	13	北海道	檜山郡江差町	92.2
4	沖縄	国頭郡本部町	92.9	14	長崎	南松浦郡新上五島町	92.2
5	岩手	九戸郡軽米町	92.7	15	沖縄	石垣市	92.2
6	長野	木曾郡木曾町	92.7	16	長野	下伊那郡高森町	92.1
7	岩手	久慈市	92.7	17	群馬	吾妻郡中之条町	92.1
8	島根	鹿足郡津和野町	92.6	18	群馬	北群馬郡榛東村	92.0
9	熊本	阿蘇郡高森町	92.5	19	沖縄	名護市	91.9
10	山形	北村山郡大石田町	92.5	20	鹿児島	南さつま市	91.8

(注 1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和 5 年 3 月調剤分)

(注 2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。

3. 市町村別後発医薬品割合マップ

図 2 市町村別後発医薬品割合マップ（数量ベース、新指標）



(注 1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和 5 年 3 月調剤分)

(注 2) 集計月において保険請求のあった薬局数が 3 軒以下の市町村は空白にしている。